

官報

明治三十年三月二十三日

火曜日

內閣官報局

○第十一回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十四號

卷之二

第一十一
第一十二
第一十三
特別免租ノ請願
地租延納ノ請願
不正肥料販賣取締規則發布ノ請願

會 議

第三	明治二十八年度豫備金支出ノ件 (政府提出衆議院送付)	會議 (特別委員長報告)
第四	明治二十八年度特別會計豫備金支出ノ件 (政府提出衆議院送付)	會議 (特別委員長報告)
第五	明治二十八年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件 (政府提出衆議院送付)	會議 (特別委員長報告)
第六	傳染病豫防法案 (政府提出)	會議 (特別委員長報告)
第七	明治二十九年度海軍省所管歲出臨時部臨時軍事費中支出未濟豫算額ノ繰越使用ニ關スル法律案 (政府提出衆議院送付)	第一讀會
第八	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第九	土地區劃改良ニ係ル法律案 (政府提出衆議院送付)	第一讀會
第十	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第十一	明治二十七年度決算ニ關スル決議案	會議 (決算委員長報告)
第十二	古墳墓保護ニ關スル建議案 (外山正一君發議)	會議 (特別委員長報告)
第十三	製鹽調查所設置ニ關スル建議案 (村田保君發議)	會議 (決算委員長報告)
第十四	下ノ關門司兩港ヲ開港外輸出入港ト爲會議 (前會ノ續)スノ請願	會議 (決算委員長報告)
第十五	登錄稅法自家用酒稅法葉煙草專賣法改正及廢止ノ請願	會議 (決算委員長報告)
第十六	清國償金ノ一部ヲ普通教育基本金ニ充ルノ請願	會議 (決算委員長報告)
第十七	營業稅法改正ノ請願	會議 (決算委員長報告)
第十八	社寺上地山林引戻ノ請願	會議 (決算委員長報告)
第十九	地租免除ノ請願	會議 (決算委員長報告)
第二十	日本銀行條例中改正ノ請願	會議 (決算委員長報告)

○子爵谷干城君 唯今御宣告ニナリマシタ豫算ハ、至シテ簡單ナモノニアゴザ
イマスカラ明日中ニ委員會ノ審査ヲ御報道致スヤウニ致シタイト思ヒマス、
此儀ヲ諸君ニ御詣リヲ願ヒタク
○男爵中川興長君 贊成
○議長(公爵近衛篤脣君) 豫算案ノ審査期限ハ明日中トスル谷子爵ノ動議ニ
異議ナクバ其通ニ致シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、第一請願委員長報告

○子爵曾我祐準君 定足數モ十分ノヤウデゴザイマスガ、如何デゴザイマ
ス、尤モ此席カラ退クノハ一人カ二人デアリマセウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス
○松岡康毅君 本員モ森林法案ノ委員デゴザイマス
○議長(公爵近衛篤脣君) 其時分ニ御知ラセ致シマス

○松岡康毅君 ドウゾ
○村田保君 本員モ同様デゴザイマス

(馬屋原彰君演壇ニ登ル)

○馬屋原彰君 請願委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、本月一日ニ
報告致シマシタル以來委員會ニ於キマシテ受領致シタル請願書ノ數ハ二百九
十五通デアリマス、サウシテ第四回報告文書表ニ載セマシタル請願書中ニ院
議ニ付スベシト查定シタルモノガ十八件五十通ニナリマス、即チ復祿及復
族祿ノ件ガ二十一通營業稅法中改正ノ件ガ六通清國償金ノ一部ヲ普通教育基
本金ニ充ツルノ件六通人力車發明人ニ年金給與ノ件ガ一通、郡域更正ノ件
ガ一通、牧牛保護獎勵ノ件ガ一通、荒川治水ニ關スルノ件ガ二通、民有山林
下戻ノ件ガ一通、利根川流域改良ノ件ガ二通、蠶種檢查ノ件ガ一通、水災被
害地地租特免ノ件ガ一通、下ノ關門司兩港ヲ輸出港トナスノ件一通、大阪築
港國庫補助ノ件一通、海外貿易上金融機關擴張ニ關スル件一通、商事會社
合併及組織變更法制定ニ關スル件一通、領事官制擴張改良ノ件一通、貯金
通帳印稅免除ノ件一通、効法體操ヲ兒童體育ニ編入ノ件一通、次ニ第五回報
告文書表ニ載セタル請願書中院議ニ付スベシト查定致シタルモノガ十五件九
十一通デアリマス、即チ復祿及復族祿ノ件十九通、清國償金ノ一部ヲ普通教
育基本ニ充ルノ件一通、營業稅法改正ノ件四通、官林拂下ノ件三通、水害
地地租特免ノ件五十三通、勞動者衛生及工場衛生法制定ノ件一通、清水港ヲ
瀬隧道改修及水災補助ノ件一通、又次ニ第六回報告文書表ニ載セタル請願書
ナスノ件一通、府縣勸業委員會設立ノ件一通、金貨本位制定鐵道國有ノ件一
通、嚴島神社保存ノ件一通、特別市制ヲ廢シ東京市制ヲ設クリノ件一通、柳ケ
貿易港トナスノ件二通、官山ヲ民有ニ下戻ノ件一通、四日市港ヲ特別輸出港ト
ナスノ件一通、府縣勸業委員會設立ノ件一通、官林拂下ノ件三通、水害
信線架設ノ件一通、復祿及復族祿ノ件二十五通清國償金ノ一部ヲ普通教育基
本金ニ充ツル件五十通、牧牛保護獎勵ノ件一通、森林保護ノ件一通、稚内港
ヲ開港外輸出入港トナスノ件一通、燈臺建設ノ件一通、羽越鐵道敷設ノ件一

通、奥羽鐵道速成ノ件二通、地方裁判所支部移轉ノ件一通、葉煙草取扱所設
置ノ件一通、神戸港修築ノ件二通、東京府市郡分離ノ非トスルノ件二通、監
獄則改正ノ件一通、森林制度改正ノ件一通、染織試驗所設置ノ件一通以上四
十九件二百三十三通ニナリマス、ソレデ其他ハ皆院議ニ付スルヲ要セズト查
定致シタルモノニアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、又第七回及第八回
報告文書表中ノ請願書ニシテ便宜繩上ゲテ査定致シタルモノガアリマス、其
件ニ付スベシト致シマシタルモノガ三件三通ニアリマス、即チ假屋灣
貿易港開設ノ件一通、七尾開港場ノ件一通、特別輸出港開設ノ件一通、此外
ハ總テ未ダ審査ヲ終ラナイコトニアリマスカラ追テ夫ミノ手續ヲ盡シマシテ
更ニ御報告ニ及ビマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 議事日程第二ニ移リマス、明治二十八年度豫備金
支出ノ件、政府提出、衆議院送付、特別委員長報告

○公爵德川家達君 委員會ノ經過竝結果ヲ御報道ニ及ビマス、此議事日程第
二ヨリ第五マドノ四件ヲ同一委員ニ付託サレマシテ去ヌル十九日ニ委員會ヲ
開キマシテ審査ヲ致シマシタル所ハ是ハ何レモ已ムヲ得ザル支出ト認メマシテ
承諾ヲ與フベシト全會一致ヲ以テ議決ニ相成リマシタ、此段御報告ニ及ビ
マス

○議長(公爵近衛篤脣君) 明治二十八年度豫備金支出ノ件、御異議ガナクハ
原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 第三明治二十八年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算
超過及豫算外支出ノ件

○議長(公爵近衛篤脣君) 是亦御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ニ明治二十八年度特別會計豫備金支出ノ件

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ニ傳染病豫防法案、政府提出、第二讀會

○議長(公爵近衛篤脣君) 此際少シク此豫防法案ニ就イテ政府委員ニ質問致シマ
ス

○男爵藤村紫朗君 簡條ニ就イテ御質問デスカ
○議長(公爵近衛篤脣君) チヨット御待チ下サイ問題ニ供スルダケノ簡條ヲ
宣告致シマス

○男爵藤村紫朗君 其個條ニ就イテ問ヘト云フコトデゴザイマスカ
○議長(公爵近衛篤齊君) 其方ガ宜カラウト思セマス
○男爵藤村紫朗君 願クハ此事ニ就イテ少シ修正ノ意見ヲ提出シヤウト思ヒ
マスルガ、先キニ問フテ置キマスルト考案ノ時間ガアッテ……
○議長(公爵近衛篤齊君) 兇ニ角問題ニ供スル箇條ヲマダ示サナイノデアリ
マスカラ問題ニ供スル箇條ダケヲ示シマスカラソレカラ後ニ願ヒマス、第一
條ヨリ第三條マデ問題ニ供シマス、朗讀致サセマス

(小畠美稻君發言ヲ求ム)
○議長(公爵近衛篤齊君) チヨット朗讀致シマスカラ……
(原本書記官朗讀)

傳染病豫防法

第一條 此ノ法律ニ於テ傳染病ト稱スルハ虎列刺赤痢、腸窒扶私痘瘡發疹
窒扶私猩紅熱、實布蛭利亞(格魯布)及ベストヲ謂フ
前項ニ掲タル八病ノ外此ノ法律ニ依リ豫防方法ノ施行ヲ必要トスル傳染
病アルトキハ主務大臣之ヲ指定ス
第二條 傳染病流行シ若クハ流行ノ處アルトキハ地方長官(東京府ハ)監視總監ハ其
ノ傳染病ノ疑似症ニ對シ此ノ法律ノ全部若クハ一部ヲ適用スルコトヲ
得

第三條 醫師傳染病患者ヲ診斷シ若クハ其ノ死體ヲ検案シタルトキハ其ノ
家人ニ消毒方法ヲ指示シ且直チニ患者若クハ死體所在ノ地ノ警察官吏市
長町村長區長戸長檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ヘシ其ノ轉歸ノ場合亦
同シ

(阪本書記官) 特別委員修正ハ「東京府ハ警視總監」ノ八字ヲ除ク
(ト述フ)

○小畠美稻君 私ハ本會ノ第一讀會ノ節ニ缺席致シマシタカラ唯今ノ修正ノ
箇條ヲ委員長ニ質問致シタイト存ジマスルガ、朗讀外ニ涉リマスガ、併シ其
質問ノ箇條ニ依リマシテハ大體ニ及シテ論ジヤウト思ヒマス、此場合ハ如何
デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 大體ノ御質問デスカ
○小畠美稻君 ハイ、大體ニ就イテノ質問デハゴザイマセヌガ箇條ニ依クテ
質問ヲ致シマスガ答辯ニ依リマシテハ大體ニ論シ及サウト思ヒマス、一讀會
ノ節ニ不參ヲ致シマシタカラ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) ソレハドウモ少し整理上困ルト思ヒマスガ、其箇
條ハ幾ツモアルデスカ

○小畠美稻君 幾ツモアリマセヌ、二箇條デス

○議長(公爵近衛篤齊君) フレデハ此箇條ヲ採決シタ後ニ願ヒタイト思ヒマ
スカ

○小畠美稻君 左様デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤齊君) フレデハ此箇條ヲ採決シタ後ニ願ヒタイト思ヒマ
ス

○久保田讓君 此豫防法案ニハ修正ヲ試タ箇條ガ數箇條ゴザイマスルガ、第三條ニ市長町村
唯今御朗讀ノ所ニ就イテチヨクトシタ箇條ガアルノデス、第一條ニ就イテチヨクトシタ
然ラバ第二條モ委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、是ハ久保田君ノ修正說ガアリマス之ニ
ス

○久保田讓君 此豫防法案ニハ修正ヲ試タ箇條ガ數箇條ゴザイマスルガ、第三條ニ就イテチヨクトシタ箇條ガアルノデス、第一條ニ就イテチヨクトシタ箇條ガアルノデス、第三條ニ市長町村
唯今御朗讀ノ所ニ就イテチヨクトシタ箇條ガアルノデス、第一條ニ就イテチヨクトシタ
然ラバ第二條モ決シマシタ、次ニ第三條ハ久保田君ノ修正說ガアリマス之ニ
ス

○西村亮吉君 贊成
○議長(公爵近衛篤齊君) 何デスカ
○西村亮吉君 今ノ久保田ノ說ヲ贊成致シマス
○男爵藤村紫朗君 贊成
○山脇玄君 贊成
○名村泰藏君 贊成
○子爵日野西光善君 贊成
○調所廣丈君 贊成
○子爵小笠原壽長君 贊成
○小原重哉君 贊成
○磯邊包義君 贊成
○男爵渡邊清君 贊成
○山田卓介君 贊成
○澤簡徳君 贊成
○子爵梅小路定行君 贊成
○議長(公爵近衛篤齊君) 是ハ二十八ノ贊成者ガナケレバ成立マセヌノデゴ
ザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス
○柴原和君 贊成
○子爵京極高典君 贊成
○伯爵立花寛治君 贊成
○子爵本莊壽巨君 贊成
○飯淵七三郎君 贊成
○子爵高野宗順君 贊成
○男爵玉松親幸君 贊成
○小林小太郎君 贊成
○議長(公爵近衛篤齊君) 贊成者ハ定數ニ充チマシタ、是ハ便宜ニ依リマシ
テ三條ヲ東ネテ問題ニ供シマシタガ一條ツ、別ニ採決致シマス、第一條ハ別
ニ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシト述フル者多シ)

然ラバ第二條モ委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス
(異議ナシト述フル者多シ)
○議長(公爵近衛篤齊君) 贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、是ハ久保田君ノ修正說ガアリマス之ニ
ス

第四條 傳染病又ハ其ノ疑アル患者若クハ其ノ死者アリタル家ニ於テハ速

カニ

醫師ノ診斷若クハ検案ヲ受ケ又ハ直チニ其ノ所在地ノ警察官吏市長町村長區長戸長檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ヘシ

前項ノ届出ヲ爲スヘキ義務者ハ一般民家ニ在リテハ戸主若クハ之ニ代ル

ヘキ者、公私立學校、病院、製造所、會社、各種事務所、貸席、集會所、興行場等ニ

在リテハ其ノ管理人又ハ代理人トス

(特別委員修正案)

第四條 傳染病又ハ其ノ疑アル患者若クハ其ノ死者アリタル家ニ於テハ速

カニ 医師ノ診斷若クハ検案ヲ受ケ又ハ直チニ其ノ所在地ノ警察官吏市長町村長區長戸長檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ヘシ

前項ノ届出ヲ爲スヘキ義務者ハ一般民家ニ在リテハ戸主若クハ之ニ代ル

ヘキ者、社寺、公私立學校、病院、船舶製造所、會社、各種事務所、貸席、興行場

其ノ他集會ノ場所ニ在リテハ其ノ首長、管理人又ハ代理人トス

○久保田讓君 本條モ亦修正ヲ致シタイ即チ四條ノ第一項ノ市長町村長ト云

フノハ唯今申シタ通市町村長ト直シマス、ソレカラ第二項ハ理由ヲ申シマス

ト少シ長クナリマスカラ唯修正ダケノコトヲ申シマス「公私立學校病院」ト云フモノヲ「公私立ノ學校病院製造所」ソレカラ「又ハ船舶會社各種事務所

云云」後トハ此委員ノ修正通、是ダケノ修正動議ヲ提出致シマス、若シ御反

對ガアルナラ理由ヲ申シ述ベマス

○名村泰藏君 チヨット久保田君ニ少シ御相談シタウゴザイマス、此何デゴ

ザイマスガ「公私立ノ學校病院」ソレカラ其次ノ船舶製造所ト云フ所ハドウ

ナリマスカ

○久保田讓君 「公私立ノ學校病院製造所又ハ船舶會社各社事務所」斯ウ云フ

コトニナリマス

○名村泰藏君 サウスルト製造所ノ下ニ船舶ト云フモノガ附クノデスマス

○久保田讓君 サウデス

○子爵宍戸璣君 賛成

○男爵藤村紫朗君 賛成

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○子爵小笠原壽長君 久保田君ニ賛成

○山脇玄君 賛成

○男爵藤村紫朗君 賛成

○議長(公爵近衛篤脣君) 賛成

○西村亮吉君 賛成

○男爵渡邊清君 賛成

○子爵作麟祥君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○宮島誠一郎君 賛成

○澤簡徳君 賛成

○調所廣丈君 賛成

○子爵京極高典君 賛成

○根岸武香君 賛成

○梅原修平君 賛成

○子爵梅小路定行君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○男爵西五辻文伸君 マダ足リマセヌカ、賛成シマス

○子爵鍋島直彬君 賛成

○議長(公爵近衛篤脣君) (其他) 賛成ト呼フ者アリ

○男爵西五辻文伸君 此際ドウゾ質問ヲ御許ヲ願ヒマス

○子爵鍋島直彬君 賛成

○議長(公爵近衛篤脣君) 起立者 多數

過半數ト認メマス、即チ久保田君ノ修正ニ決シマス

○男爵藤村紫朗君 此際ドウゾ質問ヲ御許ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 何ノ御質問デスカ

○男爵藤村紫朗君 先刻申シマシタ通先キノ方ニ分ラヌ所ガアリマスカラ修

正シタイト思ヒマスノデ、併シ時間ノ猶豫ガゴザイマセヌカラ差掛クタ所デ

ハ甚ダ困ルノデ此際ニ於テトウカ質問ヲ致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 併シ今ハ困ルデスナ、アナタノ問題ハドウ云フ問

題カ知リマセヌガ其時ニ至テ質問ナサッタラ……

○男爵藤村紫朗君 唯今決議ノ済ンダ場合デゴザイマス、先刻ノ御宣告ノ其

場合ト……

○議長(公爵近衛篤脣君) アナタハ箇條ニ附イテノ御質問ト言ハレマシタカ

ラ其箇條ノ場合ニ御質問ヲナサッタラ宜カラズモ宜シウゴザイマスガ、私ノハ或ハ箇條

ヲ顛倒スル必要ガ有リハセヌカト云フ考デアリマス、ソレデ其前ニ一應質問

ナレバ……

○男爵藤村紫朗君 強テ申スヤウデゴザイマスガ、唯一字ヤ二字ノ修正デゴ

ザイマスカラ其箇條ニ行クテカラズモ宜シウゴザイマスガ、私ノハ或ハ箇條

ヲ顛倒スル必要ガ有リハセヌカト云フ考デアリマス、ソレデ其前ニ一應質問

シテ置カヌト十分ナ修正ガ出来マセヌノデ、ソレデ願フノデゴザイマスガ、

御差止ナラ已ムコトヲ得マセヌガ實ハ甚ダ不便デ困ルノデゴザイマス、御許

シヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 議事ノ整理上甚ダ差支ヘマス、サウ云フ變則ヲ出

シマスト甚ダ差支ノ場合ガアラウト思ヒマス

○男爵藤村紫朗君 尚ホ伺ヒマスガ全體今日ハ第二讀會デ逐條ノ議ニ掛ラヌ

前ニ少シ質問ヲ求メマシタラ御差止デ控ヘテ居クタノデアリマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 全體ノ質問ハ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ第五條第六條ヲ問題ニ供シマス
(原本書記官朝讀)

第五條 傳染病患者アリタル家ニ於テハ醫師又ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ清潔方法及消毒方法ヲ行フヘシ
當該吏員ハ傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ其ノ近隣ノ家又ハ患家ト交通ヲ爲シタル家ニモ清潔方法及消毒方法ヲ施行セシムヘシ

○議長(公爵近衛篤脣君) 第五條第六條御異議ガナクバ原案ニ決シマス
(異議ナシト呼フ者アリ)

次ハ第七條

(原本書記官朝讀)

第七條 第四條第一項ニ掲ケタル者ハ傳染病豫防上當該吏員又ハ醫師ノ指示シタル清潔方法及消毒方法ヲ施行スヘキモノトス

(原本書記官朝讀)

○議長(公爵近衛篤脣君) 委員會ノ修正ハ削除デアリマスカラ決ヲ採ル時分ニ原案ニ就イテ決ヲ採リマス、若シ委員會ノ修正ヲ可トスル諸君ハ御起立ニアラヌデ宜シウゴザイマス、念ノタメ申シテ置キマス……第七條原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

ナシ

起立者ガアリマセヌカラ削除ニナリマス、第八條修正ノ第七條、八條九條マデヲ問題ニ供シマス、簡條ガ繰上ツテ來タノデアリマス

起立者

ナシ

第八條 傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ當該吏員ハ傳染病患者ヲ傳染病院又ハ隔離病舎ニ入ラシムヘシ
健康者ノ隔離ヲ必要ト認ムルトキハ隔離所ニ入ラシムルコトヲ得

第九條 當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ一定ノ日時間傳染病患者アリタル家及其ノ近隣ノ家ノ交通ヲ遮断スルコトヲ得
第十條 傳染病患者及其ノ死體ハ當該吏員ノ認可ヲ經ルニアラサレハ他ニ移スコトヲ得ス

(原本書記官朝讀)

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

次ハ第十條
(原本書記官朝讀)
(原本書記官朝讀)

第十一條 傳染病毒ニ汚染シ若クハ汚染ノ疑アル物件ハ當該吏員ノ認可ヲ受クルニアラサレハ使用授與移轉遺棄又ハ洗滌スルコトヲ得ス

第十二條 傳染病患者ノ死體ハ當該吏員ニ於テ充分ト認ムル消毒方法ヲ施

第十條 傳染病毒ニ汚染シ若クハ汚染ノ疑アル物件ハ私ニ使用、移轉、遺棄

サレハ「ト云フノヲ「私ニ」ト修正サレマシタガ、私ニ使用シタリ

又ハ洗滌スルコトヲ得ス

○箕作麟祥君 (チヨヲト委員ニ伺ヒマスガ「當該吏員ノ認可ヲ受クルニアラ

バ宜イト云フコトデアリマスカ、公ト私ハムヅカシイ區別ガアリマスガ、上ノ

遺棄シタリ又ハ洗滌シタリスルコトヲ得スト云フノアリマスガ、公ニスレ

所ハ修正ダトドウナルノデスカ、傳染病ニ染ミタ物ヲ公ニ棄テタリ公ニ使用

シタリスルノハ宜イ、私デハナラヌト云フコトニ見エマス、餘程ムヅカシイ

意味デ分リ悪イガ、ドウ云フ主意デアリマスカ、御説明ヲ願ヒマス

○松岡康毅君 是ハ公ニ對スル私デハゴザイマセヌ、濫ニ擅ニト云フ主意デ

アリマス、上ノ方ダト能ク分ルト云フ御説デアリマスガ上ノ方ハ死體ノコト

デゴザイマスカラ當該官吏ノ認可ヲ受ケナケレバ他ニ移セスト云フノデゴザ

イマス、此條ノ汚染云々ト申ス所ニハ所謂吐瀉物ナドガ這入テ居リマス、途

中デ人力車ニ吐瀉物ガ漏レタトカ或ハ家屋内テサウ云フコトガアリマシタ時

分ニハ必ズ當該官吏ノ許可ヲ受クルマデハ手ヲ著ケルコトハナラヌト云フ話

ニナルト隨分危險ナ話デアル、ソコデ政府委員ニモ是ハドウスルノデアルカ

ト云フ質問ヲ致シマシタレバ實ハサウ云フ分ハ豫メ命令ヲ以テ取片附ノ出來

ルヤウニスル積デアル、サモナケレバ必ズ田舎ナド遠方ノ所デ當該官吏ノ許

可ヲ俟テ居シテハ大變デアルト云フコトデ然ルニ法文ノ上ニ當該官吏ヲ許可

ヲ受クルト書イテ置ケバソレヲ豫メ命令デ片附方ヲサセルト云フ譯テ修正ヲシテ法文ノ上

合デアル、勿論サウ云フコトナラバ命令デ片附方ヲサセルト云フコトハ内閣デシテ法文ノ上

デハ擅ニ云々スルコトヲ得ズトシタ方ガ宜イト斯ウ云フ譯テ修正ヲシテ法文ノ上

デ公然トスレバ宜イト云フノデハナク是ハ擅ニ温ニト云フ意味デアリマ

ス

○箕作麟祥君 唯今特別委員カラ御説明ヲ聞キマシタガ能ク分ラヌ、「擅」ナ

ラ「擅」トシタラ宜カラウ、ナゼ「私」トシタノデアルカ私ト云フ字ハ公私ト云

フコトガアタテ私ノ裏ハ公ト云フコトハ分シテ居ル話デアル、擅トカ専擅ト

カ云フコトナラバサウ爲サタラバ宜カラウト思ヒマス、ソレデ吐瀉物ナド

ヲ途中デスル始末ノコトヲ言ハレマシタガソレハ政府委員ハドウ云フ御考カ

知ラヌガソレハ豫メドウ云フ處分ヲスルト云フコトヲ極メテ置イテモ宜イ、

ソレデ矢張原案ノ通當該官吏ノ許可ヲ受クルニアラザレバト云フ方ガ明白

デ宜カラウト思ヒマス、若シソレガイケヌナラバ私ト云フ字ヲ止メテ擅ト云

フコトニスレバ宜イ擅ト云フコトナラバ即チ當該官吏ノ許可ヲ受ケズニスル

ト云フコトダラウト思フソレデ原案ニ復活スルト云フ説ヲ提出シマス

○久保田讓君 私モ箕作君ニ贊成ヲ致シマス擅ニ私ニ勝手ニスルト云フ一向

際限ノナイ話デ殆ド取留ノナイ話デ矢張原案ノ方ガ誠ニ明デ宜シウゴザイマ

御説モゴザイマスガ即チ此字ガ我儘ニ勝手ニ擅ニスルト云フコトナノデ法律

スカラ贊成ヲ…

患者ノ死體ハ火葬スルガ宜イト認メルノカ、又火葬シテモ宜シ土葬シテモ
シドクチデモ宜イト云フコトニアリマスカ、先づ火葬スルガ此豫防上ニ一番堅
因デアル、併ナガラ事情ニ依テハ又土葬モ許スト斯ウ云フコトニアルカ、此
第十二條ニ於テハ十分ナル消毒法ヲ行ウタ上ニハ土葬シテモ宜イヤウニ見エ
ル、又次ノ第十三條ニ至ツテハ「火葬スヘシ」ト云フ命令的ノ言葉ヲ用ヒテ
アル死體ノ處分ニ附イテ此豫防法ハ火葬主義ヲ取ルカ又ドチラデモ宜イト云
フコトニアリマスカ、少シ疑フノデゴザイマスガ其點ヲ御説明ヲ願ヒタイ
○政府委員(後藤新平君) 是ハ第十二條ニ於テ埋葬スベキモノト云フコトヲ
藤村君ハ土葬ト直グニ御覽ニナッタメデハナイカト考ヘマス、葬リマスル
方法ハ土葬ト火葬ト二ツアリマスガ今日ニ於テハ埋葬ト云フ字ハ埋葬規則ト云
フモノヤ何カモ出来テ居リマシテ土葬モ火葬モ一ツニ總稱シテ理葬ト云フコ
トニナニテ居リマスカラ詰リ十二條ノ一項ノ埋葬スペカラズト云フコトハ消毒
方法ヲ施シタ上デナケレバ葬ルコトガナラヌ、土葬ニシヤウガ火葬ニシヤウ
ガ總テ消毒シタ上デナケレバ葬式ヲ出スコトハナラヌト云フ總論ヲ掲ゲタノ
デアリマス、次ニ火葬ト爲テルト云フ御説ガアリマスガ其點ニ附イテハ成ル
ベク火葬ヲシタニ、併ナガラ舊行習慣其他ノ關係ニ附イテ爲シ能ハザル事情
ノ存スル所デソレヲ許シテモ差支ノナイ場合ニハ又ソレヲ許スト云フ破格モ
置イテアリマスケレドモ先づ此事ヲスルニ安全ノコトニシタイト云フ趣意デ
アリマス、又年々ノ統計ヲ見マスルト次第ニ火葬ニ傾イテ居リマスカラ先づ
火葬ヲ主トシテ置クト云フコトハ將來ノタメニ大變宜シカラウト思ヒマス、
詰リ之ヲ要スルニ十二條ノ御問ニ就キマシテ「埋葬スヘカラス」ト書イテアリ
マスノハ消毒方法ヲ施シタル後ニアラザレバ葬ムルコトガ出來ヌ、火葬ニシ
ヤウガ土葬ニシヤウガ是ハシナケレバナラヌ斯ウ云フ主義デアリマス
○議長(公爵近衛篤曆君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

次ハ原案ノ第十二條(阪本書記官朗讀)

第十二條 傳染病患者ノ死體ハ火葬スヘシ但シ所轄警察官署ノ許可ヲ經タ
ルトキハ此ノ限ニアラス此ノ場合ニ於テハ其ノ土葬シタル死體ハ三箇年
ヲ經過スルニアラサレハ他ニ改葬スルコトヲ得ス

〔特別委員修正案〕

第十二條 傳染病患者ノ死體ハ火葬スヘシ但シ所轄警察官署ノ許可ヲ經タ
ルトキハ此ノ限ニアラス

傳染病患者ノ死體ヲ土葬シタルトキハ三箇年ヲ經過スルニ非サレハ他ニ
改葬スルコトヲ得ス但シ公共ノ工事ノ爲メ必要アル場合ニ於テ所轄警察
官署ノ許可ヲ經タルトキハ此ノ限ニアラス

○男爵藤村紫朗君 私ハ此委員ノ修正ノ第二項ノ中ノ「公共ノ工事ノ爲メ必
要アル場合ニ於テ」ト云フ文字ヲ削リタイト考ヘテ居リマス、ト云フモノハ土
葬シタモノヲ三箇年ノ後ニアラザレバ火葬スルコトガ出來ナイトシマスト公
共ノ工事ノタメニ必要アル場合ニ出來ルナラバ又民ノ改葬モ許可ヲ得テソ
レゾレノ手續ヲシタナラバ敢テ差支ハアルマイト思ヒマス、若シモ三箇年經
過シタル後デナケレバ改葬シテ害ガアルト云フコトナラバ公共ノ事業等ニ關
係シテモ改葬が出來ヌト確カニ禁ズルガ宜カラウト思フ、詰リソレゾレノ手

續ラシタナラバ或ハ差支ハアルマイト思ヒマス差支ナイトスレバ公共又ハ一人ノ情願等ニ依テ許可ヲ得テ十分ナル手當ヲシテ改葬スルコトハ差支アル

マイト考ヘルノテ公共ノコトニ就イテハ改葬ガ出來ル一局部ノコトニ就イテハ出來ヌト云フコトハアルマイト思フソレデ「公共ノ工事ノ爲ニ必要アル場合ニ於テ」ト云フダケノ文字ヲ削ッタ方ガ穩當デアラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 其他ハ委員ノ修正ニ御同意デアリマスカ

○男爵藤村紫朝君 左様デス

○議長(公爵近衛篤脣君) サウスルトワレモ亦一種ノ修正ト認メマス

○周布公平君 十一條ノ二項ノ修正ノ終リニ「在ラス」ト云フノハ或ハ此誤植デハアルマイカ、其「在」ノ字ガマア矢張「アラス」ト假名デ修正ノ十二條一

項ノ末文ノ如クナクチャナラヌノデアツテ其他ノ條ニ於キマシテモ修正ノ十五條ノ終リニモ「アラス」ト假名デアリマス、ソコデ是ハ委員長ノ報告ガ若シ「在」ノ字デアリマシタナラバ已ムヲ得ズ修正シタ文字ヲ一定シタイト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤脣君) ソレハ文字ノコトニ附イテノ一定ニスルコトハ後ニ事務局デヤル慣例ニナクテ居リマス

○周布公平君 ソレテハサウ云フコトニ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 藤村君ノ修正ニハ御同意者ガナイヤウデアリマス、ソレデ委員會ノ修正カラ決ヲ採リマス、委員會ノ修正ヲ可決スペキモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス次ハ原案ヲ第十四條

(阪本書記官朗讀)

第十四條 死體ヲ既ニ埋葬シ若クハ埋葬セントスル場合ニ於テ傳染病患者タリシ疑アルトキハ當該吏員ハ死體及家屋其ノ他ニ對シ更ニ相當ノ處分ヲ爲サシムルコトヲ得

(阪本書記官) 委員ノ修正ハ十四條ガ十三條ト繰リ上ヲテ居リマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 次ハ原案ノ第十五條、第十六條合セテ問題ニ供シマス

(阪本書記官朗讀)

第十五條 傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ當該吏員ハ其ノ事由ヲ戸主又ハ管理人ニ告知シ家宅内ニ立入ルコトヲ得但シ當該吏員タルノ證票ヲ示スヘシ

第十六條 傳染病流行シ若クハ流行ノ虞アルトキハ市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ市制第六十一條町村制第六十五條ニ依リ傳染病豫防委員ヲ置キ検疫豫防ノ事ニ從ハシムヘシ但シ市町村會ノ議決ニ依ルノ限ニアラス豫防委員ニハ醫師ヲ加フヘシ其ノ醫師ヨリ出ツル者ハ市町村長之ヲ任免ス

(特別委員修正案)

第十四條 傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ當該吏員ハ其ノ事由ヲ戸主首長又ハ管理人ニ告知シ家宅船舶其ノ他ノ場所ニ立入ルコトヲ得但シ當該吏員タルノ證票ヲ示スヘシ

第五條 傳染病流行シ若クハ流行ノ虞アルトキハ市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ市制第六十一條町村制第六十五條ニ依リ傳染病豫防委員ヲ置キ檢疫豫防ノ事ニ從ハシムヘシ但シ市町村會ノ議決ニ依ルノ限ニアラス豫防委員ニハ醫師ヲ加フヘシ其ノ醫師ヨリ出ツル者ハ市町村長之ヲ囑託ス

○久保田讓君 此修正ノ十五條原條ノ十六條ニ修正ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 原案ノ十六條デスカ

○久保田讓君 修正ノ十五條原案ノ十六條、此「豫防委員ニハ醫師ヲ加フヘシ其醫師ヨリ出ツル者ハ市町村長之ヲ囑託ス」是ハ原案ニ「任免ス」トアルノヲ「囑託ス」ト修正ニナリマシタガ原案ノ方ガ宜シイノデアラウト思フ、何故斯ウ云フ修正ニナクタカト云フコトヲ承ハルト此委員ニハ餘程御醫者ガ澤山デアクテ醫者ヲ任命スルト云フヤウナコトハ大變失禮ダト云フ所ヨリ囑託ト爲フタト云フコトデアリマス、ドウモ少シ分ラヌ、是ハ市制ノ六十一條町村制ノ六十五條ナドニ基イテ出來ル委員デアリマスカラ即市町村ノ行政ノ事務ヲヤル所ノ吏員デアル、市町村長ヲ助ケテ市町村ノ自治ノ行政事務ヲ取扱フ所ノ市吏員デアル其吏員ニ加ハル委員デアリマスカラ決シテ御醫者様ダト云フテモ何ト云フテモ構コトハナイ正當ナコトニ取扱フガ宜シイソレデ即チ市制ノ六十一條ニ矢張任免ノコトガ書イテアリマシテ「市長之ヲ選任ス」ト書イテアル、ソレカラ又學務委員ナドノ所ニ持テ來テ小學校令ナドニモ矢張「市町村長之ヲ任免ス」ト書イテアリマス、他ノ法令ニモ明ニ書イテアリマスカラ故ラニ醫師ニ限シテ囑託トスルノ必要ハナイ、ソコデ本員ハ原案デモ宜シウゴザイマスガ矢張市制ノ根本ノ法ニ基イテ「選任ス」ト云フ字ガ宜カラウト思ヒマスカラ此修正ノ動議ヲ提出致シマス

○山脇玄君 贊成

○馬屋原彰君 本員モ久保田君ノ修正ニ同意デアリマスドウモ「囑託」ト云フ字ハ立派過ギルヤウデアリマス加フルニ隨分田舎ノ醫者ニハ或ハ新ニ取換ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトデ囑託ト云フコトヲ動カスコトガ出來ヌト云フヤウナコトニモナルカラ是ハ久保田君ノ說ガ宜イト思ヒマスカラ贊成致シマス

○梅原修平君 贊成

○三浦安君 贊成

○箕作麟祥君 贊成

○西村亮吉君 贊成

○小林小太郎君 贊成

○子爵鍋島直彬君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○子爵内藤政共君 贊成

○根岸武香君 贊成

- 男爵菊池武臣君 賛成
○子爵小笠原壽長君 賛成
○子爵日野西光善君 賛成
○子爵新莊直陳君 賛成
○磯邊包義君 賛成
○角田林兵衛君 賛成
○男爵中川興長君 賛成
○男爵金子有卿君 賛成
○男爵本多副元君 賛成
○議長(公爵近衛篤麿君) 定規ノ賛成ガアリマシタ、先づ第一ニ此原案ノ第十五條修正第十四條ノ決ヲ採リマス是ハ委員會ノ修正テ御異議ハゴザイマセヌカ
然ラバ次ニ第十六條、修正第十五條久保田君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 過半數デゴザイマス、久保田君ノ修正ニ決シマシタ次ハ原案ノ第十七條

(阪本書記官朗讀)

第十七條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ市町村内ノ清潔方法及消毒方法ヲ施行シ醫師其ノ他豫防上必要ナル人員ヲ雇入レ及器具、藥品其ノ他ノ物件ヲ設備スヘシ

○議長(公爵近衛篤麿君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

次ニ原案ノ十八條

(阪本書記官朗讀)

第十八條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ傳染病院又ハ隔離病舍隔離所ヲ設置シ傳染病患者又ハ隔離者ノ收容ニ充ツヘシ
傳染病院隔離病舍隔離所ノ設備及管理ノ方法ハ地方長官之ヲ定ム
(特別委員修正案)

第十九條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ傳染病院隔離病舍隔離所又ハ消毒所ヲ設置スヘシ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
傳染病院隔離病舍隔離所又ハ消毒所ノ設備及管理ノ方法ハ地方長官之ヲ定ム

○議長(公爵近衛篤麿君) 委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ其通決シマス

次ハ原案ノ十八條ヨリ一千條マデ

(阪本書記官朗讀)

船舶汽車ノ検疫ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ船舶若クハ其ノ船舶汽車ノ乗組人ニシテ病毒感染ノ疑アル者ヲ必要ノ日時間停留シ及無償ニテ當該吏員又ハ醫師ヲ船舶汽車中ニ乗込マシムルコトヲ得船舶汽車ノ検疫ニ於テ發見シタル患者ハ其ノ地市町村立ノ傳染病院又ハ隔離病舎ニ收容治療セシムルコトヲ得市町村ハ相當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス但シ之カ爲メ特ニ要シタル費用ハ地方長官ニ請求スルコトヲ得前各項ノ外検疫委員ノ設置及船舶汽車ノ検疫ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

- | | |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二 | 市街村落ノ全部又ハ一部ノ交通ヲ遮断スル事 |
| 三 | 祭禮供養興行集會等ノ爲メ人民ノ群集スルコトヲ制限シ若クハ禁止スル事 |
| 四 | 古著鑑禮古綿其ノ他病毒傳播ノ虞アル物件ノ出入ヲ制限シ若クハ停止シ又ハ其ノ物件ヲ廢棄スル事 |
| 第五十一条 | 諸官廳策治監及官立ノ學校病院製作所等ニ傳染病發生シ若クハ發生ノ虞アルトキハ其ノ首長ハ地方長官 <small>(東京府ハ警視總監)</small> ト協議シ豫防方法ヲ施行スヘシ |
| 法律ニ準シ豫防方法ヲ施行スヘシ | 陸海軍所屬ノ部隊軍艦等ニ傳染病發生シ若クハ發生ノ虞アルトキハ其ノ首長ハ此ノ法律ニ準シ各其ノ所定ノ規則ニ依リ又必要アル場合ニ於テハ地方長官 <small>(東京府ハ警視總監)</small> ト協議シ豫防方法ヲ施行スヘシ |
| 〔改本書記官委員會ノ修正ハ二十條ノ括弧中東京府ハ警視總監ノ八字ヲ除キ條數ガ十九條ト改マリマシタ」ト述フ〕 | 〔官立ノ學校病院製作所〕トアルノヲ前ニ製造所トアツタカラ一定スルタメニ是モ製造所ト修正ヲ致シマス |
| ○久保田讓君 賛成 | ○久保田讓君 原案ノ二十一條修正ノ第二十條ニ「ノ修正ヲ提出致シマス |
| ○子爵立花種恭君 賛成 | ○子爵立花種恭君 賛成 |
| ○子爵日野西光善君 賛成 | ○子爵日野西光善君 賛成 |
| ○子爵鍋島直彬君 賛成 | ○子爵鍋島直彬君 賛成 |
| ○三浦安君 賛成 | ○三浦安君 賛成 |
| ○男爵中川興長君 賛成 | ○男爵中川興長君 賛成 |
| ○子爵本莊壽亘君 賛成 | ○子爵本莊壽亘君 賛成 |
| ○男爵金子有卿君 賛成 | ○男爵金子有卿君 賛成 |
| ○男爵玉松真幸君 賛成 | ○男爵玉松真幸君 賛成 |
| ○子爵一柳末德君 賛成 | ○子爵一柳末德君 賛成 |
| ○小原重哉君 賛成 | ○小原重哉君 賛成 |
| ○名村泰藏君 賛成 | ○名村泰藏君 賛成 |
| ○澤簡徳君 賛成 | ○澤簡徳君 賛成 |

○根岸武香君 贊成

○山脇玄君 贊成

○澤原爲綱君 贊成

○西村亮吉君 贊成

○男爵藤村紫朝君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ハ定規ノ贊成ガアリマス、然ラバ原案ノ十九
條二十條ヲ先ダ決ヲ採リマス委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ……
クバ其通決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○次ハ原案ノ二十二條

(阪本書記官朗讀)

第二十二條 左ノ諸費ハ市町村ノ負擔トス

一 警防委員ニ關スル諸費
市町村ニ於テ施行スル清潔方法消毒方法及種痘ニ關スル諸費

二 豫防救治ノ爲メ雇入タル醫師共ノ他ノ人員並豫防上必要ナル器具藥品其ノ他ノ物件ニ關スル諸費

三 傳染病院隔離病舍隔離所及消毒所ニ關スル諸費

四 傳染病院隔離病舍隔離所及消毒所ニ關スル諸費

豫防救治ニ從事シタル者ニ給スヘキ手當療治料及其ノ遺族ニ給ス
ヘキ救助料吊祭料

五 第九條ニ依レル交通遮断ニ關スル諸費及交通遮断ノ爲メ自活シ能ハ
サル者ノ生活費
市町村内ニ於テ發見セル傳染病貧民患者並死者ニ關スル諸費

六 其ノ他市町村ニ於テ施行スル豫防事務ニ關スル諸費

(阪本書記官、委員會ノ修正ハ第八條ニ依レル交通遮断ニ關スル
諸費及交通遮断ノ爲メ又ハ一時營業ヲ失ヒ自活シ能ハサル者ノ
生活費ト改マリマシタト述フ)

○久保田讓君 此所ニ又一ツノ修正ヲ致シマス、唯今ノ條ノ第八項ニ「交通
遮断ノ爲メ又ハ一時營業ヲ失ヒ自活シ能ハサル者」トアリマスガ、此文章ダ
ケデハ意味ガ更ニ分ラナイ、ソレテ政府委員ニ尋ネマシタ所ガ是ハソノ一時
營業ノ停止ヲスル場合ガアル、一時營業ヲ停止致シタダメニ貧困ナ者ハ自活
ノ途ヲ失フヤウナ場合ガアルカラ其事ヲ此所ニ入レタノデアルト云フコトデ
アリマスサウ云フコトデアレバサウ云フ意味ヲ現スヤウニ分ルヤウニ修正ヲ
致シタイ、ソレデ私ハ「又ハ一時營業停止ノ爲メ自活シ能ハサル者」ト斯ウ
修正ヲ致シタイ、サウスレバ交通遮断ノタメ又ハ一時營業停止ノ爲メ自活シ
能ハサル者ノ生活費ト云フコトニナッテ意味ガ極タハキリ致スノデアリマ
ス、サウ云フ修正ノ動議ヲ提出致シマス

○瀧口吉良君 贊成

○宮島誠一郎君 贊成

○子爵小笠原壽長君 久保田サンニチヨント伺ヒマスガツイ聽キ落シマシタ

○政府委員(後藤新平君) 只今松岡サンカラノ説ハ少シ政府委員ノ説明トハ
直接ニナリマス、交通遮断ノタメト申シタノデアリマセヌ、漁撈等ヲ禁止ス
ガドウ云フ御修正デアリマスカ

○子爵京極高典君 贊成

○澤簡徳君 贊成

○子爵日野西光善君 贊成

○梅原修平君 贊成

○子爵小笠原壽長君 贊成シマス

○子爵鍋島直彬君 贊成

○山脇玄君 贊成

○山脇板倉勝達君 贊成

○西村亮吉君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○子爵一柳末德君 贊成

○山田莊左衛門君 贊成

○小暮英三郎君 贊成

○磯邊包義君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 定規ノ贊成ガアリマシタ、原案二十二條、久保田
君ノ修正ハ成立チマシタ

○三浦安君 流行病ノトキニ營業ヲ停止スルト云フコトハ行政上テ出來ルカ
知レマセヌガ、自然營業ヲ爲シ得ナイト云フコトハアルカモ知レヌガ、行政
上營業ヲ停止スルコトガ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ少シ疑ハシイヤウニ
思ヒマスガ、政府委員ノ答辯ヲ請ヒマス

○政府委員(後藤新平君) 傳染病豫防上必要ナコトガアリマスレバ必要上停
止スルコトが出來ルト思ヒマス、ソレカラ又此所ニ於キマシテノ今ノ現在ノ
所ニ於テドウ云フコトヲ停止スルコトが必要アルカト云ヒマスルト、此所
テ申シマスルノハ直接ニ政府カラ止メルノデハナイノデス、例ヘバ漁撈ナド
ヲ禁ジマシタメニ、ソレガタメニ營業ヲ止メナケレバナラヌ、サウ云フヤ
ウニ間接ニスル所ノモノガ重ニ唯今ノ修正ノ場合ニ當ツテ居ルノデゴザイマ
ス、必要ナ場合ニハヤルト思フテ居リマス

○松岡康毅君 唯今ノ説明ヲ承リマスト交通遮断ノタメ又ハ一時營業ヲ停止
スルガタメト云フ趣意デハナクシテ、交通遮断ノタメニ自然營業ガ出來ナク
ナッテト云フ意味デアルト云フコトデゴザイマシタガ、然ラバ唯「又ハ」ト
云フ二字ヲ削レバ其意味ノ通ニ全ダナルダラウト思ヒマス、之ヲ「又ハ」時
營業ヲ停止スルトナリマスルト、直接ニ營業ヲ官カラ差止メルト云フコト
ニ直接ニナリマス、今ノヤウナ自然ニ交通遮断ノタメニ營業ガ出來ナクナル
間接ニナルトハ餘程違ヒマスヤウデゴザイマス、今ノ趣意ナラバ「又ハ」
二字ヲ削レバ全クサウナルト思ヒマスカラ修正説トシテ提出致シマス

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

ルノ必要ガアッテ、其禁止シタタメニ營業ノ停止ニナル禁止シタ場合ハ此場合ニ重ニ含ンデ居ルトスウ申シタノデアッテ、交通遮斷ト申シタノデハアリマセヌ、交通遮斷ノタメニ營業ヲ失ヒ自活シ能ハザル者ハ此所ニ這入ラテ居リマス「又ハ一時營業停止ノ爲メ」ト修正ニナリマシタガ、此所ニ又ハ一時營業ヲ失ヒト言フコトハドウ云フコトヲ意味シテ居ルカト云ヒマスルト、或

ル場所ノ漁撈ナドヲ禁シラレマンタメニ、交通遮斷デハナク漁撈ナドヲ禁シラレマシタ場合ニ其營業ヲ失フ者トスウ言フモノヲ意味シテ居リマスト云フコトヲ申シタノデアリマス

○三宅秀君 唯今ノ政府委員ノ説明デ委員ノ修正ノ起リマシタ所以ハ略々御分リニナリマシタラウガ、丁度政府委員ガ一ノ例トシテ原案ノ第二十條ノ八項ノ漁撈ト言フコトヲ指摘サレマシタガ、本員ノ説明ヲ致サウト存ジタノハ云水ノ使用ヲ必要ナル時日間制限シ若シクハ停止スルト云フコトガアッテ、此水ニ依ラテ洗濯ヲ致シ染物ヲ致シ、自然此水ニ依ラテ生活ヲ致ス者ガ一時自活ヲ失フト云フコトニ致シタノデ決シテ直接ニ行政官ガ營業ノ停止スルト云フ事柄テハナイノデアリマスカラ、停止ト云フ字ヲ嫌フテ此ノ如ク修正ニナリマシタ次第アリマス、松岡君ハ「又ハ」ト云フ字ヲ削ラレマシタガ、

「又ハ」ト云フ字ヲ削ル說ハドウゾ御引ッ込メヲ願ヒタイ、何故ト申シマスルト交通遮斷ノタメト文字ガ眞直ニ參レバ別ノ箇條デ此二十條ノ八項アタリノコトカラシテ一時營業ヲ失フタノデアリマスカラ其積ノ修正デアリマス

○松岡康毅君 分リマシタ引ッ込メマセウ

○議長(公爵近衛篤曇君) モウ大抵御議論モナイヤウデゴザイマスガ、久保田君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤曇君) 少數、委員會ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒ起立者 多數

○議長(公爵近衛篤曇君) 過半數ト認メマス次ハ原案ノ二十二條ヨリ二十五條マデ……

(阪本書記官朗讀)

十五條ガ二十四ト爲リ二十二ガ二十一條二十四條ガ二十三條ト斯ウ爲リマシタ」ト述フ

○男爵小畠美稻君 特別委員ニ質問致シタウゴザリマス、此原案ノ第二十六條……

○議長(公爵近衛篤曇君) ソレハ問題外デアリマス、ソレマテ行シテ居リマセヌ

○男爵小畠美稻君 行シテ居リマセヌカ

○議長(公爵近衛篤曇君) 第二十三條ヨリ二十五條マデ御異議ハアリマセヌカ

○議長(公爵近衛篤曇君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤曇君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ノ通ニ決シマス次ニシ其ノ六分一ヲ補助スルモノトス

(特別委員修正案)

(阪本書記官朗讀)

○議長(公爵近衛篤曇君) 第二十六條國庫ハ第二十二條第二十四條ノ府縣稅又ハ地方稅ノ支出ニ對シ其ノ三分ノ一ヲ補助スルモノトス

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

(政府委員改谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(改谷芳郎君) 此第二十六條ニ於キマシテ原案ノ六分ノ一トアルノヲ委員會ニ於テ三分ノ一ト御修正ニナリマシタガソレハ政府ニ於テハ復活ヲ求メマス、委員會ニ於テ政府委員カラ其コトヲ述ベマシタノデゴザリマスガ是ハ委員會ニ於テハ御採用ナクシテ可決ニナリマシタ、其復活ヲ求メマス處ノ趣意ハ段々此傳染病豫防法案ヲ提出ニナリマシタ前ニ此費用ノコトニ附キマシテ内務省ヨリ財務當局ニモ御相談ガゴザリマシタ、然リマスル所ガ此費用ハモト地方ノ負擔ト爲ルベキモノデゴザリマス、國費多端ノ際デアリマスルカラ甚ダ其支辨ニ困ルト云フコトデゴザリマシタ所ガ何分ニモ補助ヲ與フルニアラザレバ十分ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フヤウナ所カラ段々詮議ヲ盡シテ先づ六分ノ一以内デ支辨ヲスル經畫トシテ斯ノ如ク提出致シマシタノデゴザリマス、然ルニ三分ノ一ト御修正ニナリマスト其經畫ノ上ニ狂ヒガ生ジマシテ甚ダ財源支辨ノ上ニ於テ困却致シマス次第ゴザリマス、固ヨリ此費用ハ左程多額ト申スホドノモノデハゴザリマセヌケレドモ何分地方ノ負擔ニ屬スベキモノノ國庫ノ負擔ニ幾分タリトモ移ス云フコトハ國民負擔ノ輕重ニモ關係シマス次第アリマシテ何卒是ハ原案ノ通復活ニナルヤウニ政府デハ希望致シマス抑々此財政ノ經畫ニ附キマシテハ既ニ豫算委員會ニ於キマシテ三十年度ノ經畫ヲ御決定ニ相成リ尙ホ三十年度以後ノ經畫ノコトヲ御参考ノタメニ御話致シタ次第アリマシテ其通既ニ可決ニナッタ今日デアリマス、然ル處ガ此法律ニ依リマシテ財政ノ經畫ガ動クト云フコトニナリマシテハ甚ダ憂慮スベキコトデアラト存ジマス、已ニ此衆議院ノ方カラ當院ノ方ニ回テ居リマスガ、或ハ登錄稅ヲ修正スル其結果タルヤ又百二三十萬圓ノ減少ニナリマス或ハ又水害地ノ地租ヲ免スル其結果タルヤ又百三萬圓ノ減少ニナル或ハ又鐵道敷設ノタメニ五千八百万圓カラノ公債ヲ起ス或ハ家祿處分ヲ修正シテ公債ヲ募集スルト云フヤウナ法案又先般當院ニ於

キマシテ政府ガ反對致シマシタルニモ拘ラズ古社寺ノ保存法ノ上ニ修正ヲ御加ヘニナリマシテ二十万圓ノ支出ヲ増スコトニナリマシテソレヲ上下兩院ヲ通過致シマシタ、故ニ此財政ヲ如何ニシテ維持スルヤト云フコトノ御察シヲ願ハナケレバナリマセヌ次第アリマス、抑憲法ニ於キマシテ豫算ノ調製權ヲ政府ニ委ネラレ議院ハ豫算ノ調製權ヲ持タメ又議院法ニ於テ豫算委員ヲ常任トセラレマシタノハ或ル特別ノ規定ニナツテ居ルト云フモノハ畢竟致シマスルト此財政經畫ノ上ニ不權衡ノコトノナイヤウニ斯ウ云フコトニナツテ居リマス、然ル處一旦出シマシタ財政計畫ガ法律ニ依シテ段々打壊サレテシマウコトニナリマスレバ國家財政上甚ダ危險ノコト、思ヒマスソレ故ニ第二十五條ノ御修正ノ如キモ金額ニ於テハ餘り多額ノコトデハアリマセヌケレドモ既ニ政府ニ於テ財政ノ計畫ヲ立テ、提出致シマシタコトデアリマスカラ成ルベクハ政府ノ財政ノ許ス限ノ範圍内ニ於テ立テタト云フコトヲ御認メニナリマシテ原案ノ通ニ復活ニナランコトヲ希望致シマス○久保田讓君 私ハ此二十五條ニ附イテハ矢張原案ガ宜シイノデ、六分ノ一ト云フコトハ宜シカラウト思シテ居リマス、併ナガラ唯今大藏省ノ政府委員ノ言ハレマシタコトニ附イテハ一言致シテ置カナケレバナラヌ、ソレハ其政府が財政ノ經畫ヲ立て、居ル、其財政經畫ヲ顧ミズシテ濫ニ貴族院デ財政經畫ニ異同ノ起ルコトヲ議決スルト云フコトハドウモ憲法ナドノコトヲ頻ニ引カレマシタガ、ドウ云フコトニアッタカ、甚ダサウ云フコトハ宜シクナイ豫算編製權ハ政府ニアルソレヲ其豫算ヲ決定シテ置イテ其豫算外ニ法律ナドニ續々斯様ナコトヲヤルノハ宜シタナイ、古社寺保存法ナドノコトヲ引カレテ論ぜフレタヤウデアリマスガ、是ハドウモ甚ダ同意ヲシ難イ、貴族院ハ即チ法律ヲ議決スル權ヲ持テ居ル、ソレカラシテ租稅ナドヲ徵收スルコトニ付イテモ議決スル權ヲ持テ居ル、豫算ノ協贊權ヲ持テ居ル、財政ノコトハ獨政府ノ財政ノミガ確カナモノデアッテサウシテ議院ト云フモノハ政府ノ財政ニ唯盲從シテ行カナケレバナラスト云フ義務ハ少シモナイ、財政ニ附イテ意見ガアレバ十分ニ申述ベナケレバナラヌ、即チ今日ノ財政ニ附イテハ大ニ議論ガアル、ワレデスウ云フ議論ヲ以テ此本條ノ復活ヲ求メル論據トセラル、コトハ全然反對致シマス、其コトヲ一言申シテ置キマス○梅原修平君 本員ハ委員ノ修正ヲ贊成致シマス、折角此ノ如キ法律が出來マシテモソレダケノ補助ガゴザイマセヌデハ或ハ其效力ヲ全フスルコトガ出来マイカト存ジマス、矢張委員ノ修正ニ贊成致シマス○子爵小笠原壽長君 本員ハ矢張此修正說ヲ贊成致シマス、唯今之ニ就イテノ政府委員ノ御答辯ハ本員ハ甚ダ了解シ兼ル御答辯ト考ヘマス、之ニ就イテハ十分質問致シタウゴザイマスケレドモ久保田君カラノ御說モアリマシタカラ本員ハ別段質問ヲ致シマセヌガ、ドウモ唯今政府委員ハ御言過ギト考ヘマス、本員ハ此修正說ヲ贊成致シマス

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル) ○政府委員(阪谷芳郎君) 本員ガ唯今申述ベマシタノハ此第二十六條ノ六分ノ一ト云フノヲ三分ノ一ト云フコトニ委員會デ修正ガ出テ居リマス、ソレヲ矢張原案ニ復活ヲ求メマシタト申シマシタ、其次第ハ此財政ノ經畫ノ變更ニ相成リマス、其財政ノ經畫ト云フモノハ既ニ決定シタ今日デアル、故ニ財政經畫ノ決定シタ今日ニ於テ更ニ法律ヲ以テ斯ウ云フコトガ行レルヤウニナレバ折角決定ニナツタ所ノ財政ノ經畫ト云フモノハ歲入ノ取ラレルモノモ取ラレナクナリ、歲出ガ非常ニ殖エテ遂ニ收支償フコトガ出來ナイ、サウスルト財政上甚ダ危險ナコトニ陥リハセヌカト云フ懸念モアル、因ツテ此總テ政府ニ於テハ財政上ノ都合ヲ計ツテ提出致シテアルコトデゴザイマスカラ、ドウゾ原案ノ通御同意ニ相成ルヤウニト云フ主意デ斯ウ云フコトヲ申シマシタノデゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 憲法云々ト云フコトガゴザイマシタガ……○男爵安場保和君 私モ政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、ドウガ復席ヲ願ヒマス、唯今政府委員カラ本案ノ復活ノコトヲ申述ベラレマンタガ其理由トシテ業ニ既ニ貴衆兩院ニ於テ決定シテ居ル豫算ノ外ニ續々登録税ノ削除トカ或ハ家祿ノ處分法トカ云フヤウナコトガ出テハ政府ニ豫算調製ノ權ヲ以テ居ルノヲ即チ兩院ノ權能ニ依シテ議定シテ其後ニ續々出ルト云フヤウナコトデハ甚ダ國家ノ經濟上ニ便利ヲ得ナイトカ或ハ紊亂ヲ生ズルトカ云フヤウナ主意ノ論デアリマシタガ、ソレハ成程一應尤モノコトデ、政府ノ方ノ希望ハ左様デアリマセウケレドモ其裏ニハ政府ハ豫算調製後ニ續々今日モ數件ノ追加案ガ出テ居ル、ソレハ豫算ニハ一向載シテ居ラヌ、ソレデ政府ノ方デハ勝手ニサウ云フモノヲ出シテ此貴族院ニ於テ法律制定ノ權ヲ以テ居ル所ノ方カラ持出スコトハ宜シクナイト云フコトハ餘程身勝手ナ話デゴザイマス、併ナガラ決シテ政府カラ追加案ノ出ルノハイカナイトハ言ハヌ、是ハ國家必要ナコトデアッテ、適當ノコトデアレバ豫算外ノコトモ續々御提出ニナテモ宜カラウト思フ、其可否得失ニ於テハ本院デ議論ヲ十分盡シテ果シテ適當ナルモノト見ルトキニハ同意ヲ表スル、ソレデ政府ニ於テモ最初調製ノ豫算權ニドウトカ云フコトハ決シテナイト考ヘル、其邊ハ政府委員ニ於テモ其入ル所ト出ル所ヲ計ツテ極メラレタノデアル、然ルノニ決定以後ニ於テハ財政經畫ヲ動スト云フヤウナ法律ガ續々ト現レルニ於テハ其決定ニナツタ

(ひやくト呼フ者アリ)

○男爵藤村紫朝君 私モチヨット政府委員ニ御尋ね致タ、豫算經畫ノ決定シタト云フコトヲ仰シヤルノハ何デゴザイマスカ、豫算經畫ノ決定ト云フコトトハ三十年度ノ豫算ノコトデゴザイマスカ、ソレナラ一年限三十年度ノ豫算デアル、其他繼續費ハ多年ニ涉テ居リマス、全體財政經畫ノ決定ト云フコトハドウ云フ案が出来居リマスカラレヲ承リタ

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 大層色モノ議論ガツイ脇ニ涉リマシテゴザイマスガ、私が申シマシタ財政經畫ト云フモノハ即チ此三十年度ノ財政經畫ノコトヲ申シ述ベマシタ、ソレハ即チ豫算ニ於テ既ニ御決定ニ相成リマシタコトデゴザイマス

○男爵藤村紫朝君 豫算ノコトデゴザイマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) ハイ

○森山茂君 チヨット質問ガアリマス、此六分ノ一補助ト云フモノハドノ位

ノコトニナリマスカ見込ラ

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 六分ノ一ノ補助ノ金額ヲ御尋ニナルノト考ヘマシテ申上ゲマス

(森山茂君「サウデゴザイマスト」ト述フ)

是ハ五箇年間ノ平均ニ據リマスト四万八九千圓ニナリマス、ソレデ先づ五万圓トシテ宜シイノデゴザイマス、ソレデ先づ平均ニ五六三十万圓位ニナッテ居リマス、五箇年ノ内最モ少イ時ガ十八万圓、最モ多キ時ガ此四十八万圓計

リニナリマス、マア五十万圓ト

○外山正一君 此唯今色モノ押著ガアリマスガ原案ノ二十五條二十六條ト云

フモノハ原案ノ二十七條ニ據リマスト但書デ以テ「明治三十一年四月一日ヨリ施行ス」トアル、サウスルト是ハ此豫算ニハ關係ハナイコトデゴザイマス、ソレ故ニ其經畫ト云フモノハ此次ノ豫算ノ時ニハドウデモヤツタラヨサウニ思ヒマス

○政府委員(阪谷芳郎君) 外山君ニ登ル

(三浦安君「政府委員ノ發言ノ前ニ忠告ヲ致シタウゴザイマスト」ト述フ)

○議長(公爵近衛篤齊君) チヨット御待チ下サイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 先刻申シマシタ通財政ノ經畫ト云フモノハ三十年

度ノ豫算ノ時ニ決定ニナツテ居ル、其中ニ三十一年度以降ニ涉テ政府ニ於

テハ經畫シテ居リマスカラソレヲ申上ゲマシタ

○三浦安君 此二十五條ノ三分一トカ六分一トカ云フコトハ言ハミ高ノ知レタ問題デゴザイマスガ、ソレニ附イテ政府委員ガ憲法ノ解釋論ヲ持出サレタ

リ豫算編製云々或ハ一過定マツタモノヲ議院ガ之ヲ修正スルコトハ無理デア

ルト云フ妙ナ解釋デアリマシタ、本員モ六分ノ一ノ原案ガ宜シト思テ居リマンタガ、如何セン憲法ノ解釋ガ出マスト憲法ニ於テ之ヲ修正スルコトガ出來ヌニ依ツテ之ヲ原案ニ復スルト云フコトニナルト甚ダ不本意ドコロデナク議院ノ權利ヲ害スルト言ハナケレバナラヌ、是シキノコトニ憲法ノ解説ヲ

出サレルト云フコトハ是ハ政府委員ノ言フベキコトデナイ、恐ラクハ阪谷君一己ノ言過ギデアラウト思ヒマス

〔ひやひや〕ト呼フ者アリ

サウ云フコトハ能ク省ミテ御覽ナサレバ是シキノコトニ、此堂タル議員ノ捕シテ居シテ誰モ彼モ憲法ニ據シテ之ヲ處理シテ居ル者ヲ憲法ヲ誤解シテ居ルト言ハレテハ甚ダ以テ議院人體面ヲ損ジマス、唯是シキノ小問題ニ於テ議院ノ權能ヲ害スルコトデハ誰モ贊成ドコロデナイ、此事ハ容易ニ許サレヌ、ソレハ一己ノ言過ギニ依ツテ大體ヲ害スルコトニナリマス、政府委員ノ言フベキコトデナイ、阪谷君一己ニ忠告ヲシマスガ之ヲ保護セントスルタメ恐ラクハ熱心ノ餘リ言過ギタモノト斯ウ存ジマス、憲法ニ係ル解釋論ダケハ御取消ニナルガ相當ト思ヒマス、若シ此論ヲ取消サレヌト此論ハ他日ニ遺リマス、容易ニ議院デ聽流スコトハ出來マセヌ、能ク御省ミナサイ、是ダケノ忠告致シマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 三浦君ノ御忠告ハ謹デ謝シマス、本員ガ申シマシタノハ決シテ解釋論ヤ權能ニ附イテ申シタノデハアリマセヌ、唯單ニ財政經

畫ト云フモノハ斯ウ云フモノ、其財政計畫ニ微シテ豫算ハ斯ウ云フモノニアルト云フコトヲ唯参考ニ申シタノデアリマス、サウ強ク御聽取リニナリマセヌヤウニ

○三浦安君 唯今ノ辯明デ略々分リ掛ケマシタ、然ラバ憲法ト云フコドハ出サレヌガ宜イ、憲法モ出サレタ以上ハ取消ガアラヌ以上ハドウシテモ議院デハ唯ハ置ケマセヌ

(男爵伊達宗教君發言ス)

○議長(公爵近衛篤齊君) 發議中デゴザイマス

○三浦安君 我ニ於テ主義ガ一遍定マツタコトデアルニ依ツテ、先づ豫算ハ此場合差支ヘルカラドウカシテ之ヲ原案ニ復シタイト云フハ御尤デ、

大藏省トシテハサウ解釋スルト保護スベキモノ、併シ憲法ガドウト云ツテハ他日ニ遺シテ決シテ此儘経過ハ出來マセヌ、若シ憲法云々ト云フコトヲ御

取消シニナレバ主義ガ能ク分リマス、憲法ノコトヲ取消サレヌ以上ハ本員ハ明言シテ置キマス、此場ギリデハ濟ミマセヌ、先年豫算ノコトニ附イテ遂ニ衆議院トノ衝突カラ上奏ニマデ及シダコトガアリマス、然ルニ政府委員トシテ右ノヤウナコトヲ言ハレタノ其儘経過致シタラ到底議院ノ權能ヲ全クシタトハ言ハレマセヌ、願クハ阪谷君一己ニ省ミラレテ憲法ノコトヲ言ハレタノハ熱心ノ餘ニ言過ギラレタト思ヒマスカラ此場デ御取消ニナレバ結構デアリマス、若シ御取消ニナラヌケレバ此場限デハ濟ミマセヌ

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○子爵鍋島直彬君 全ク三浦君ト同感デアリマス、ドウゾ政府委員ハ能ク省ミラレテ憲法云々ノコトヲ取消サレシコトヲ望ミマス

○男爵伊達宗敦君 私ガ御尋ニ附イテ政府委員ノ憲法云々ト述ベラマシタ其事ノ御答ガナイ、三浦君ノ言ハレタ通政府委員ハ憲法云々ト言ハレタノデアル、言ハレタナラバ謹デ御取消ヲ願ヒマス生意氣ナコトヲ

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 取消ス所ガ分リマセヌガ憲法云々ト申シマシタ

ガ、憲法ト云フ言葉ヲ用ヒテハ惡イト云フ意味デハナイト認メマス、私ノ申

シタコトヲ繰返セバ豫算ノコトハ大變重クナツテ居リマス、憲法ニ於テモ豫

算調製ノコトハ政府ノ方ニ調製權ヲ與ヘラレテ居ル、又議院法ニ於テモ豫算委員ハ常任委員トシテ特別ノ取扱ニナシテ居ル、是ハ重キヲ財政ノ經畫ニ置カレタノデアリマス、依ッテ云々トスウ申シマシタ、何カ本員ガ憲法ノ解釋ヲ致シタヤウニ御聽取りニナリマスレバ是ハ本員ガ言誤ツテ居ルカ知リマセ

ヌガ、本員ハサウ申シタ積ハアリマセヌ

○三浦安君 速記録ガモウ出來テ居リマセウカラ朗讀ニナリタウゴザイマス、成ルホド今坂谷君ノ言ハレルヤウニ憲法ニ豫算ノ調製ノコトガアル委員ノコトハ議院法ニ斯ウアルト言ハレマシタガ其憲法ニ據ツテ構成シタモノヲ變ズルト云フコトハ出來ヌトホカ聽エマセヌ、ドウシテモ……

○政府委員(坂谷芳郎君) サウハ申シテ居リマセヌ

○議長(公爵近衛篤齊君) 速記録ハ今取りニ遣リマシタカラ暫ク此議論ハ中止ヲ願ヒマス、暫クワレハ別問題トシテチヨウト諸君ニ御詔リヲ致シマス

ガ、此案ハ進行シテ行シタ方ガ都合ガ宜カラウト思ヒマス、ソレニ依ッテ可否決ヲ決スルト云フコトハアルマイト思ヒマス

○三浦安君 之ニ依ツテ大ニ可否ニ關係ヲシマス、憲法ニ於テ斯クシタモノハ變ズルコトハ出來ヌト存ジマスカラ之ヲ變ズルナラバ原案ニ戻スト云フコトハドウシテモ出來マセヌ、理由ニ於テハ三分ノ一ヨリ六分ノ一ガ當ツテ居リマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 併ナガラ三分ノ一ヲ六分ノ一ト云フコトニ決ヲ採ツテ差支ナイト思ヒマス

○三浦安君 二十五條ハ後ト回シニシテハ如何デス、是ダケヲ後トニシテ○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバ此條ダケハ後トニ回シマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕然ラバ後ニ回シマス、然ラバ原案ノ第二十七條、後ニ重要ノ問題ガアリマス

カラ朗讀ハ省略ヲ致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下倣之)

第二十七條 第七條ノ義務者清潔方法消毒方法施行セス又ハ之ヲ施行スルモ當該吏員ニ於テ充分ナラスト認ムルトキ及必要ノ時限内ニ施行シ得

得私ニ於テ前項ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セサルトキハ國稅滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收ス

(特別委員修正案)

第二十六條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ清潔方法

消毒方法ヲ施行スヘキ義務者之ヲ施行セス又ハ之ヲ施行スルモ當該吏員

ニ於テ充分ナラスト認ムルトキ及必要ノ時限内ニ施行シ得スト認ムルト

キハ當該吏員之ヲ施行シ其ノ費用ハ市町村ヲシテ支辨セシムヘシ此ノ場

合ニ於テ市町村ハ其ノ費用ヲ義務者ヨリ追徴スルコトヲ得
私人ニ於テ前項ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セサルトキハ國稅滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 原案ノ二十七條修正ノ二十六條、委員ノ修正ニ御

異議ガ無ケレバ……

(異議ナシト呼フ者アリ)

然ラバ委員ノ修正ニ決シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

次ハ本案ノ二十八條、修正ノ二十七條

第二十八條 此ノ法律若クハ此法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ市町村又

ハ私人ニ於テ施爲スヘキ事項ヲ施爲セス若クハ之ヲ施爲スルモ充分ナラスト認ムルトキ又ハ必要ノ時限内ニ施爲シ得スト認ムルトキハ地方長官ハ府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ之ヲ施爲シ其ノ費用ヲ市町村又ハ私人ヨリ追

徴スルコトヲ得

私人ニ於テ前項ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セサルトキハ國稅滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收ス

(特別委員修正案)

第二十七條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ市町村其他ノ公共團體又ハ私人ニ於テ施爲スヘキ事項ヲ施爲セス若クハ之ヲ施

爲スルモ充分ナラスト認ムルトキ又ハ必要ノ時限内ニ施爲シ得スト認ムルトキハ地方長官ハ府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ之ヲ施爲シ其ノ費用ヲ市町

村其ノ他ノ公共團體又ハ私人ヨリ追徴スルコトヲ得

私人ニ於テ前項ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セサルトキハ國稅滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 此條ニ於キマシテ私ハ委員ノ入レラレマシタ「其他ノ公共團體」ト云フ字ガアリマス、之ヲ二箇所トモ削ルト云フ說ヲ提出致シマス、是ハ委員長カラ説明ノアリマシタガ、果シテソレガ水利組合ト云フコトデアレバ、

諸君ノ御承知ノ通ドウモ傳染病豫防ノコトニハ縁ノ遠イモノデアツテ、此法律ヤ又ハ此法律ニ基キテ發シタ命令デ市町村ニ諮詢スペキコトヲシナイト云フコトハ分リマスガ、水利組合ガ傳染病豫防法ニ關スルト云フハ奇々妙々ナコトニ考ヘラレマス、詰リ此法律又ハ此法律ニ基キテ發シタ命令デ之ヲシロ合ト云フ説明デアリマシタガ、果シテソレガ水利組合ト云フコトデアレバ、

アレヲシロト云フコトデアレ、傳染病豫防ノタメニスベキコトヲ命ズルノハ市町村又ハ私人ト云モノデ宜カラウ、即チ政府原案ノ通デ宜シトイ存ジマス、「其他ノ公共團體」ト云フコトハ何ノ必要ガアルカ存ジマセヌガ誠ニ是ハ蛇足ト思ヒマスカラ削除ヲ致シタウゴザイマス

○三浦安君 賛成

○久保田謙君 賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) フレハ賛成ハ別段ニ御發言ガナイトモ宜イノデス、第二十八條委員ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 起立者ナシ、原案ノ通ト認メテ宜シウゴザイマス

次ハ原案ノ第二十九條ヨリ第二十一條マデ

○議長(公爵近衛篤齊君) 第二十九條此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳

ノ職權ニ屬スル事項ハ行政處分ヲ以テ之ヲ強制スルコトヲ得
第三十條 第二十七條及第二十八條ノ費用追徵ニ關シ不服アル私人ハ訴
願法ニ依リ訴願スルコトヲ得
第三十一條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ當該吏員
ノ指示命令シタル事項ヲ指定ノ期限内ニ履行セサル者ハ別ニ罰則ヲ定ム
ル場合ノ外五圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

〔特別委員修正案〕此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳
ノ職權ニ屬スル事項ハ行政處分ヲ以テ之ヲ強制スルコトヲ得

第二十九條 第二十六條及第二十七條ノ費用追徵ニ關シ不服アル私人ハ訴
願法ニ依リ訴願スルコトヲ得

第三十條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ當該吏員
ノ指示命令シタル事項ヲ指定ノ期限内ニ履行セサル者ハ五圓以下ノ罰金

又ハ科料ニ處ス
○箕作麟祥君 チヨット原案ノ第二十九條修正ノ第二十八條政府委員ニ御主
意ヲ伺ヒタインデゴザイマスガ此「行政官廳ノ職權ニ屬スル事項ハ行政處分
ヲ以テ之ヲ強制スルコトヲ得」ト是ハ誠ニ分り切ッタ話デ斯ウ云フコトヲ一
法律文ニ入レテ置クト云フモノハドウ云フモノデスカ、是ガナケレバ行政
官廳ハ手モ足モ出セヌト云フソシナ窮屈ナモノデセウカ、二十九條ハ何ノ必
要ガアルノデセウ、チヨット御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(後藤新平君) 是ハ既ニ他ノ法律ニモ必要ナ場合ニハ書イテアル
ヤウニナシテ來マシタカラシテ此傳染病豫防規則ニ於キマシテモ亦行政處分
ノ強制ガ必要ニアラウト認メマシタカラ書イテアルノデ唯或ハ其法律ニ書イ
テアツクガスンナコトヲ書カヌデモ何デモ法律ガ定ツテ居レバ出來ルト云フ
御考デアルカ知リマセヌガ詰リ河川法ナドニ於キマシテミ騒動ヲ起シタリ
何カシク時分ニハ行政處分強制ノコトガナケレバナラヌト云フノデソレガ書
イテアル、即チ傳染病ナドノコトモ近來段々開ケテ來テ非常ニ忌避ヲスル者
ガナクナシタケレドモ隨分百姓一揆モ起り又傳染病院即チモト謂フ避病院ナ
ドニ行ツテ無暗二人ガ安心シテ這入ッテ居ルモノヲ教唆シ連れ出シタリ種々ナ
コトガアリマス、斯ノ如キ時分ニハ行政處分ノ強制ヲ以テ處分シ又ハ人民ノ
集合ヲ解散サセタリスルヤウナコトニハ茲ニ書イテナケレバイカヌト云フヤ
ウナコトカラ掲ゲタノデアリマス

○箕作麟祥君 唯今政府委員ノ御説明デ見マスト河川法トカ何トカ外ノ法律
ニサウ云フコトガ書イテアルカラ之ヲ書イテ置カヌト人民ガ此命令ニ從フコ
トヲイヤガシタ時分ニハ仕方ガナイト云フ御説明デアリマスガ茲ニ河川法ハ
持ッテ居リマセヌカラソレハ能ク分リマセヌガ實ハ唯今ノ御説明ノ通ナラバ

行政官廳ノ職權ト云フモノハ至シテ微々タモノデ法律デ特別ニ書イテナケ
レバ行政官廳ト云フモノハ幾ラ法律ナリ命令ナリデ隨分職權ガアリマシテモ
人民ガイヤダト云フト、アーサウカト言ツテ引込ンデシマフ、サウ云フ行政官
廳ナラバ到底一國ヲ維持スルト云フコトハ出來マイト思フ、固ヨリ人民ガ傳
染病豫防規則ノ制裁ヲ彼是譯モ分ラヌデ抵抗シマスルコトハソレハ此二十九
條ガアッテモ同シコトデ二十九條ガ有ルゾ、ハイ畏マリマシタトハ言ハヌ、
譯モ分ラヌデ抵抗スルノデアルカラ矢張ソレハ抵抗スルニ違ヒナイソレハ法

律ガアラウガナカラウガ人民ノ譯ノ分ラヌモノ、コトデアル、斯ウ云フコト
ヲ特ニ書イテ置カナケレバ手モ足モ出セヌト云フサウ云フ微弱ナ行政權ナラ
バ到底我日本帝國ノ行政權ト云フモノハ何モ扱フコトハ出來ヌ、斯ウ云フコ
トヲ法律ニ書クト云フコトハ以テノ外ノコトデ法律ノ上ニ書クベカラザルコ
ト、思フノデ斷然此條ハ削除スベキモノト思ヒマス

○男爵小畠美稻君 贊成
○子爵小笠原壽長君 箕作君ノ説ニハ本員モ大贊成デゴザイマス

○三浦安君 贊成
○議長(公爵近衛篤磨君) 削除説ニハ別段贊成ノ御發言ガナクトモ宜シイ、
原案ニ附イテ決ヲ採リマスカラソレニ御異議ガアルナラバ起立ヲ爲サラヌデ

宣シウゴザイマス、御参考ノタメニ原案ノ第二十九條ダケニ附イテ決ヲ
採リマス、原案第二十九條ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 大少數デアリマス、是ハ削除ニナリマシタ、原案
ノ第三十條御異議ガアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○三浦安君 モウ十二時ヲ餘程過ギマシテゴザイマスソレガ濟ミマシタナラバ休憩ヲ希
望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) チヨット御待チ下サイマダ 問題ニ供シマシタ箇
條ガ残シテ居リマスカラ……

○三浦安君 ソレダケハ宜シウゴザイマスソレガ濟ミマシタナラバ休憩ヲ希
望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 原案ノ第三十一條委員ノ修正ニ御異議ガナケレバ
其通ニ決シマス、先刻來疑問ニナシテ居リマス政府委員ノ發言ノ速記ガ茲ヘ
参リマシタカラ朗讀ヲ致サセマス

○三浦安君 (阪本書記官朗讀)
抑憲法ニ於キマシテ豫算ノ調製權ヲ政府ニ委ネラレ議院ハ豫算ノ調製權
ヲ持タス又議院法ニ於テ豫算委員ヲ常任トセラレマシタノハ或ル特別ノ規
定ニナシテ居ルト云フモノハ畢竟致シマスルト此財政經畫ノ上ニ不權衡ノ
コトノナイヤウニ斯ウ云フコトニナシテ居リマス、然ル處一旦出シマシタ

財政經畫ガ法律ニ依ツテ一段々打壊サレテシマフコトニナリマスレバ國家財
政上甚ダ危險ノコト、思ヒマス、ソレ故ニ第二十五條ノ御修正ノ如キモ
額ニ於テハ餘リ多額ノコトデハアリマセヌケレドモ云々

〔モウ一度ト呼フ者アリ〕
○三浦安君 唯今ノ速記録ノ朗讀ヲ分リマシテゴザイマスガ決シテ憲法云々
ヲ言ハイデモ結構ニ分ル理窟ナノデ何ノタメニ憲法ヲ持出サレタカト云ヘバ
豫算ノ調製權ヲ憲法ニ於テ政府ニ與ヘタモノヲソレヲ打壊ストスウホカ解釋
ガ出來ヌノデアリマスドウシテモ憲法ト云フコトヲ出サレタノハ其重ミヲ以
テ此事ニ加ヘタトホカ聞エマセヌ、然ラズシバ唯成行ニ取ツテ解釋ヲサレ
ノナレバ既ニ兩院トモニ議決ニナシテ居ル豫算ノコトデアルカラソレヘ持ツ
テ行ツテ加ヘテハヤリ繰リニ困ルト云フノナラ分リ切ッタ話デゴザイマス、何

ノダメニ憲法ノ云々ヲ持出サレタカト云ヘバ憲法ノ重ミヲ藉リテ憲法ニアル
政府ノ豫算調製權ヲ基因トシテ之ヲ破ルト斯ウ云フ重ミヲ以テ之ヲ壓セント
欲スルニ過ギマセヌカラ此事ハ是切りデハ濟メラレマセヌデ、願クハ憲法云
云ダケハ阪谷君ニ於テ言過ギデアシタ取消サレルガ誠ニ穩當ナ條理ニアラ
ウト存ジマス、然ラズシバ此事ハ決シテ是切りデハ相濟ミマセヌ

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(阪谷芳郎君) 三浦君ノ御説ノ通ニ誤解ガアリマシテハ甚ダ相濟
ミマセヌ次第ゴザイマスカ憲法ハ……

○三浦安君 御取消デゴザイマス

○政府委員(阪谷芳郎君) 憲法ト言フタ二字ヲ取消シマス

○三浦安君 憲法ニ關スルコトヲ御取消トアレバソレデ宜シウゴザイマス

○子爵小笠原壽長君 阪谷政府委員カラ憲法ノ二字ヲ取消サレマシタガ其際

ニ誤解云々ト云フコトヲ言ハレマシタ、私共ハ決シテ誤解ヲ致シテ居リマセ

ス、全ク三浦君ト同感デアル爾來政府委員ニ於テハ右様ノコトハドウゾ注意

サレテ仰シヤラヌトソレガタメニ議場ノ進行ニ大關係ヲ持チマスカラドウゾ

以來政府委員ハ十分御注意アランコトヲ希望致シマス、決シテ私共ハ誤解ヲ

致シテ居リマセヌ

○三浦安君 議長

○議長(公爵近衛篤齊君) 三浦君何デスカ

○三浦安君 ソレデヤ今ノ速記録ノヨット朗讀ニ對シテドコマデヲ取消ス

ト云フコトヲ取極メテ置カレタイ、然ラズシバ分明ニナリマセヌ、唯憲法ト

云フ字ダケ除イテ置カウト云フコトデアリマスケレドモ憲法其物ノ解釋ニ

ナツタコトニ就イテドコマデヲ取消スト云フコトヲ極メテ置キタウゴザイマ

ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 政府委員ハ別ニ何トモ言ヒマセヌカラ……二十六
條ノ……

○久保田讓君 私モドウモ取消サレタ方ガ宜カラウト思フ、ソレハ唯憲法ト

云フ二字ダケデハ速記録ノコトニ就イテ一向取消サレテモ意味ヲ爲サヌ、ソ

レハ三浦君モ申サレル通私ナゾノ考ヘテ居ルノモ矢張憲法ニ據シテ豫算調製

權ヲ持シテ居ル、其豫算或ハ財政經營ノコトヲ極メテアルノヲ議院ノ法律ノ

制定ニ依テ段々經營ガ壞ハレル、サウシテ財政ガ甚ダ危險ニナルト云フコト

ヲ今ノ速記録ニ現ニ載シテ居ル、サウ云フコトヲ藉リテ其力ニ依シテ此議院

ノ今修正ヲシヤウト云フコトヲ押ヘヤウト云フコトノ意思ノアシタコトハ明

白ナコトデアリマスカラ是ハドウモ甚ダ宜シクナイ、ドウカ阪谷君ニシテ憲

法ト云フ二字ヲ取消サレマスナラバ併テ彼ノ一段ハ殘ラズ御取消ニナツタ方

ガ宜シカラウト思ヒマス、サウセヌト異日ニ累ロヲ遺サウト思ヒマスカラ更

ニ私ハ坂谷君ニ御忠告致シマス

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(阪谷芳郎君) 少シ其速記録ノドコヲ取消シテ宜イカ少シ分リ兼
ネマステゴザイマスカラドウ云フ所デゴザイマシタカ
○三浦安君 休憩ニナリマスレバ休憩中ニ考モシマセウカラ此所ハ休憩ガ至
極宜カラウト思ヒマス
○森山茂君 阪谷君チヨウト御待下サイ大抵分シテ居リマス、實ハ私モ甚ダ

不審ニ思フ此補助スルコトハ今度ノ豫算ニ就イテハチシトモ關係ガナシ、即
チ三十一年ノ四月カラ行フノデヤカラ今度ノ豫算カ成立シテ居ルカラ云々ト
云フコトヲ言ウテ辯スルニ及バヌ、サウシテ來ルト憲法ニ於テ定シタモノヲ
云々ト言ウテ豫算ノ成立如何ヲ言フニ及バヌノヲ陳ヘラレタノデアリマスカ
ラ全クソレデハ誤解デアラウト思フノデアリマス、其關係ヲ持シテ居ルコトヲ
マルデ御取消ニナルガ宜シカラウト思ヒマス

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今書記官カラ速記録ヲ示サレマシタガ、今書記
官ノ朗讀致シタ分ヲ全部取消スコトニ致シマス
〔宣シウゴザイマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 二十六條委員ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

〔二三分ノ一ノ補助ノコトデゴザイマスカ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 勿論サウデゴザイマス

〔安藤則命君政府委員ハ一カラ六マデヲ御取消ニナリマシタカ」ト述
ブ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 起立者

〔子爵舟橋遂賢君〕 異議ヲ申立テマス「ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 此位明カナモノヲ御異議ヲ申立ニナリマスカ……

○子爵舟橋遂賢君 今ノ御宣告ハ不確カデ議場ガ動搖シテ居シテ確ニ分リマ
セヌカラ……

○議長(公爵近衛篤齊君) 然ラバモウ一度起立ヲ請ヒマセウ、委員會ノ修正
ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 起立者少數

○議長(公爵近衛篤齊君) 少數ニアリマス、原案ノ通ト認メテ宜シウゴザイ
マスカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 時刻モ大分過ギマシタカラ後ハ修正ノ一向ナイ所

デアリマスカラ全部ヲ問題ニ供シテソレヲ決シテ第二讀會ヲ終リタウゴザイ
マス

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

第三十二條 醫師傳染病患者ヲ診斷シ若クハ其ノ死體ヲ検索シタル後十二

時間以内ニ届出ヲ爲サヌ又ハ虛偽ノ轉歸届ヲ爲シタルトキハ五圓以上五

十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 第四條第五條第一項第十條第十一條第十二條第一項第十三條

ニ違背シタル者第五條第二項ニ依リ清潔方法及消毒方法ヲ施行セサル者

交通遮斷ヲ犯シタル者又ハ醫師ニ請託シテ第三條ノ届出ヲ爲サシメス若

クハ其ノ届出ヲ妨ケタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 此ノ法律中ノ規程ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除ク外北海
道沖繩縣ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
此ノ法律中市町村ニ關スル規程ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除ク外市

附則

制町村制ヲ施行セサル地ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第三十五條 海外諸港及臺灣ヨリ來ル船舶ニ對シ施行スル檢疫ハ別ニ定ム
ル所ニ依ル

第三十六條 此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス但シ第二十五條及
第二十六條ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

第三十八條 明治十三年布告第三十四號傳染病豫防規則ハ此ノ法律施行ノ
日ヨリ廢止ス

○議長(公爵近衛篤脣君) 三十一條ヨリ終マテ御異議ガナクバ原案ニ決シマ

(特別委員ノ修正ハ條數ノ變更アルノミニ付キ別ニ掲ケス)

○議長(公爵近衛篤脣君) 三十一條ヨリ終マテ御異議ガナクバ原案ニ決シマ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤脣君) 二讀會ハ終リマシタ

○久保田讓君 此處テ一言申シタイソレハ此案ノコトデアリマスガ先達本案
ノ二讀會ヲ續イテヤラレルト云フトキニ述ベルコトヲ請求致シテ修正案ヲ持
出タノデアリマスガ抑々今日ノ修正ハ御承知ノ如ク實ニ些々タル文字上ノ修
正ヲ致シタニ過ギマセヌガ何故カト云フト即チ政府ノ提出ノ原案ノ調査ガ粗
漏デアルト云フコトデアル、全體法制局ノ參事官内務省ノ參事官ハ何ヲ調べ
タモノデアルカ、今日ノ仕事ハ皆參事官書記官ノ仕事デアル、斯ノ如キ粗漏ナ
モノヲ此會議ノ末ニ持出シテ議案ノ山ノ如クアルトキニ讀場ヲ半日間累ハシ
タノハ甚ダ宜シクナイト思ヒマス、私ナゾモ斯ノ如キ法律ハ能ク調査ヲナサ
レタガ宣カラウト思フ、法制局内務省アリノ參事官ノ粗漏モ甚シイコト、
思ヒマス、我ニハ此タメニ昨日全ク一日ヲ潰シテシマヒマシタ、以來政府デ
ハ十分御注意アランコトヲ御忠告申シテ置キマス

○瀧口吉良君 此原案ノ三十七條ハ委員ノ修正ガアリマスガ唯今ハ委員ノ修
正ニ決シマシタノデスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 左様デス

(「議事日程ヲ變更シテ直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス」ト

(「贊成シト呼フ者アリ」)

○議長(公爵近衛篤脣君) 異議ナケレバ……

(「贊成シト呼フ者アリ」)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○男爵小畠美稻君 私ハ一讀會ノ續キニ缺席ヲ致シマシテ甚ダ今日ニ至リ

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、傳染病豫

防法案第三讀會(朗讀ハ省略致シマス)

(男爵小畠美稻君演壇ニ登ル)

○男爵小畠美稻君 私ハ一讀會ノ續キニ缺席ヲ致シマシテ甚ダ今日ニ至リ

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、傳染病豫

防法案第三讀會(朗讀ハ省略致シマス)

○議長(公爵近衛篤脣君) 午後一時二十二分開議
集會及政社法中改正法律案特別委員
委員長子爵谷千城君 副委員長松岡康毅君
(有賀書記官朗讀)

委員長副委員長左ノ通音選セラレタリ

國稅徵收法案特別委員

委員長伯爵上杉茂憲君 副委員長子爵小笠原壽長君

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、傳染病豫

防法案第三讀會(朗讀ハ省略致シマス)

(男爵小畠美稻君演壇ニ登ル)

○男爵小畠美稻君 私ハ一讀會ノ續キニ缺席ヲ致シマシテ甚ダ今日ニ至リ

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、傳染病豫

防法案第三讀會(朗讀ハ省略致シマス)

午後零時三十分休憩

モ出處ナイト云フ政府委員ノ説明デアリマシタ、ツレガ私ハ實ニ分テナ
イ、是程嚴重ニ豫防法ヲ行ハネバドウシテモ傳染病ノ豫防ト云フモノが出來
ナイ、是程ノ豫防ヲ行ヘバトテモ町村費ノ負擔ニ堪エヌニ依ツテ地方稅カ

ラ補助ヲスル、地方稅モ亦負擔ニ堪エヌニ依テ國庫金カラ補助スルト云フコトノ法律ヲ作ツテドゥンテモ市町村費、地方稅ノ負擔ニ堪ヘヌト云フコトヲ認メマシタナラバ三十年ハ是デヤラウト云フドウモ甚ダ無理ナコトデ道理ニ於テ分ラヌ、之ヲ是非三十年度カラ行フト云フコトナラバ國庫金ハ追加豫算ニデモシテ出スト云フ、又ソレガ出來ヌケレバ二十一年カラ行フテ、宜カリサウナコト、考ヘルソレデ私共ハ六分ノ一ノ國庫ノ補助デハトテモイカナイ、實ニ特別委員ノ修正通三分ノ一ハ補助ヲセネバトテモ十分ノコトハ出來マイト云フ考デアリマス、ソレ故ニドウモ政府ガ市町村費ノ負擔ニ堪ヘヌ地方稅ノ負擔ニハ堪ヘヌニ依テ市町村費ハ地方稅デ補助ヲスル、地方稅ハ國庫金デ補助ヲスルト云フコトヲ認メナガラ三十年一年ハ無理無性ニ此嚴重ナ豫防法ヲ町村費ヲ以テ施行スルト云フコトハ甚ダドウモ無理ナコト一向道理ニ適ハヌコト、考ヘルノデ、是ハ三十一年度カラ施行シテ宣シイモノト考ヘルノデ、本案ノ廢棄ヲ主張致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 他ニ御發議モナイヤウデスカラ、本案ノ決ヲ採リマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、即チ本案ハ可決確定シマシタ、次ハ明治二十九年度海軍省所管歲出臨時部臨時軍事費中支出未濟豫算額ノ繰越使用ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)
明治三十三年三月十八日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤齊殿
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
明治二十九年度海軍省所管歲出臨時部臨時軍事費中一時賜金及其ノ取扱ニ關スル諸費ニシテ明治二十九年度ニ於テ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未濟ノ豫算額ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

(政府委員男爵川口武定君演壇ニ登ル)
○政府委員(男爵川口武定君) 今議題ニ上ボリマシタ海軍省ノ臨時軍事費ノ支出未濟ノ金額ヲ二十年度ニ繰越使用スルニ係ル法律案デゴザイマスルガ、是ノ要シマスル理由ハ理由書ニモゴザイマスル通海軍省デハ此臨時軍事費ハ二十九年度中ニ悉皆支拂ヨ了ル積デゴザイマシタ、然ル處ガ此臺灣地方ニ參リマシタ軍艦ニ乗組員ノ賞勳ニ係リマスル事ノ調書ヲ常備艦隊司令長官カラ臺灣總督ニ送リマスル節ニハ一月ノ半頃ニ日本ヲ送リ出シマシタ、一月ノ二十二日ニ臺灣ノ臺北ノ停車場マダハ無事ニ到着致シマシタ、其臺北ノ停車場カラ總督府ヘ持シテ參リマス間ニ土人ノ人夫ガ其書類ヲ入レマシタ行李ヲ搬ウタ儘デ逃げテ仕舞ヒマシタノデゴザイマス、直グニ憲兵巡查ヲ以テ徹夜ヲ以テ諸方搜索ヲ致シマシタケレドモ遂ニ其跡ヲ見マセヌ、翌朝ニ至リマシ

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤齊君) 過半數ト認メマス、即チ本案ハ可決確定シマシタ、次ハ明治二十九年度海軍省所管歲出臨時部臨時軍事費中支出未濟豫算額ノ繰越使用ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)
明治二十九年度海軍省所管歲出臨時部臨時軍事費中支出未濟豫算額ノ繰越使用ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ヲ朗讀致サセマス

貴族院議長公爵近衛篤齊殿
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
明治三十三年三月十八日

衆議院議長鳩山和夫

土地區劃改良ニ係ル法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

貴族院議長公爵近衛篤齊殿
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)
明治三十三年三月十八日

衆議院議長鳩山和夫

政府ノ許可ヲ受ケ土地改良ノ爲市町村内ノ土地所有者ノ全部又ハ一部共同シテ其ノ區劃形狀ヲ變更スルトキハ其變更ニ係ル土地ノ地價ハ現地價ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シ之ヲ定ム

(政府委員男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今提出ニナリマシテ土地區劃ニ係ル法律案デアリマスガ、御承知モアラセラル、通ニ此農業ハ……先づ約メテ申シマスルト、此田畠ノ區劃ト云フモノガ餘程此届曲ガ劇シウゴザイマス、或ハ此畦畔ガ多ウ過ゴシ致シマスルカラシテ、非常ニ此農事ニ差支ヘルコトガ起リマシテ、サウシテソコくデ餘程之ヲ改良致シマシテ、届曲シテ居ル所ハ真直ニ致シマスル或ハ不必要ナ畦畔ヲ取除ケルヤウナコトヲ致シマシテ、農事ニ改良ヲシテ非常ナ良結果ヲ得テ居ルト云フコトハ既ニ御聞及ノコトデア

テ、臺北ノ城外ヲ流レテ居リマスル淡水川ノ淺瀨ニ其行李ガ半分遺シテ居リマシタ、書類モ其處ニ遺シテ水ニ浸シテアリマシタ、之ヲ取り上げマシテ十分ニ乾シテ調べマシタ所ガ半バ以上流失致シマシテ逆モソレダケデハ調査スルコトガ出來マセヌノデ更ニ又常備艦隊ノ方ニ戻リマシテソレヲ最初カラ手續ヲ履シテ調べナケレバナリマセヌ、此調ニ掛リマシタ人員ガ凡ツ四千五百人モゴザイマスルノデ、速モ容易ニ經リマセヌデ、速モ此年度中ニハ一時賜金ヲ賜ハルト云フ手續ニハ至リマセヌデアリマス、ソコデ餘儀ナク之ヲ三十年度迄繰越使用シナケレバナラヌト云フコトニナリマシタノデ、會計法二十一條ニハ建築工事又ハ製作ノ事ハ繰越使用スルコトヲ得ルト云フ規程ハゴザイマスケレドモ斯ノ如キモノハ其範圍内デゴザイマセヌデ、特ニ法律ヲ要シテ此繰越使用ヲ許サレルコトノ必要ガ生ジマシタソレゴザイマス、何卒ドウゾ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 他ニ御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

- リマシテ、此農會ノ報告ニ著シキ效力ガ載シテ居リマス、然リマスルニ、此田畠ノ畦畔ソレゾレノ今ノ變更ヲ致シマスルト、唯今ノ取扱通デハソレゾレノ手續ヲ致シマシテ、サウシテ租稅ノ地價ニ減少ナドヲ生ジマスカラ、斯クアリマシテハドウモ此農業ノ進歩上ニ餘程差障リヲ生ジマスカラ、ソレデ其手續ト云フモノヲ簡易ニ致シマシテ、斯ル有益ナル改良ト云フモノヲバ容易クセシメンガ爲ニ此法案ヲ提出シタ譯デアリマスル、尙ホ詳シイ所ハ御質問其他委員會等ニ罷出テ詳シク説明ヲ致シマスデアリマセウガ、併ナガラ大體ニ於キマシテ唯今申上ダル通ノコトデアリマスカラ、ドウゾ十分ノ御調査ヲ遂グラレテ速ニ協賛ヲ全フ
- 議長（公爵近衛篤齊君）御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベヤ特別委員ノ選舉
- 男爵西五辻文仲君 此委員ノ選舉モ議長ニ御委託ヲ致シマス
- 伯爵大原重朝君 賛成
- 議長（公爵近衛篤齊君）議長委託ニ御異議ナクバ其通ニ致シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 子爵鍋島直彬君 本員ハ緊急動議ヲ提出致シマス、會期モ最早餘日ナイコトニナリマシテ、議案モ斯ノ如ク輻輳シテ居ル今日デゴザイマスカラ、此第十ノ次ニ即チ唯今ノ場合ニ、議事日程ヲ變更セラレ保稅倉庫法案ノ第一讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス
- 子爵稻垣太祥君 賛成
- 三浦安君 賛成
- 議長（公爵近衛篤齊君）保稅倉庫法案ノ第一讀會ノ續ヲ此際開キタイト云ソ請求ガアリマスガ、御異議ガナクバ直ニ開キマス
- 然ラバ保稅倉庫法案第一讀會ノ續、特別委員長報告
- 〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕
- 子爵鍋島直彬君 御報告致シマス本案ノ委員會ハ去ル十九日ニ開キマシテ少々質問モゴザイマシタケレドモ要スルニ此外國貿易ノ歲ニ月ニ隆盛ナル今日ニ於テハ極メテ必要ナル法案デゴザイマシテ別ニ大體ニ就イテ少シモ異讀ハゴザイマセデ唯此諸君ノ御手許ニ先刻回リマシタデゴザイマセウ、第三十一條ニ倉庫トアル上ニ保稅ト云フ二字ヲ加ヘマシタ是ハ實ニ全ク文字ノ修正デアタテ他ハ凡テ保稅トアルニ此處ニハ倉庫トアルニ正誤モ宜シイ位デアリマスケレドモ何分正誤ト云フ譯ニ參リマセヌデ即チ他ト均一ヲ保ツガタメニ保稅ト云フ二字ヲ加ヘマシタノミノコトデ何モ意味ニ關係ノアルノデゴザリマセヌ、原案即チ衆議院ノ修正通少シモ異議ナク全會一致ヲ以テ議決致シマシタ、若シ何カ御質問デゴザイマスレバ原案ニ就イテ御質問ハ政府委員ニ御質問ナルヤウニ致シタウゴザイマス、尙ホ唯今申述ベマシタ通修正ト申シテモ唯文字ノ修正ダケノコトデアッテ別ニ御議論モナイ法律案カト存シマスデドウカ讀會ヲ省略サレテ直ニ議決ニナランコトヲ希望致シマス
- 山田卓介君 讀會省略ニ贊成
- 周布公平君 賛成
- 子爵稻垣太祥君 賛成

- 三浦安君 賛成
- 子爵立花寛治君 賛成
- 子爵平松時厚君 賛成
- 宮本小一君 賛成
- 山脇玄君 賛成
- 子爵堤功長君 賛成
- 森山茂君 賛成
- 議長（公爵近衛篤齊君）讀會省略ハ成規ノ贊成ガアリマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長（公爵近衛篤齊君）三分ノ二以上ト認メマス、次ニ右議案ハ委員會ノ修正通テ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長（公爵近衛篤齊君）然ラバ本案ハ委員會ノ修正ノ通決シマス
- 富田鐵之助君 議事日程ヲ變更ニナリマシテ關稅定率法案ノ第一讀會ノ續ヲ御開キニナランコトヲ希望致シマス
- 子爵日野西光善君 賛成
- 小原重哉君 賛成
- 議長（公爵近衛篤齊君）關稅定率法案第一讀會ノ續ヲ直ニ開キタイト云ソ續、特別委員長報告
- 〔富田鐵之助君演壇ニ登ル〕
- 富田鐵之助君 本員ハ關稅定率法案ノ特別委員ノ一人デゴザイマス、委員長立花伯爵ガ事故アッテ今日御缺席デゴザイマスデ本員ガ代リマシテ委員ノ御報告致シマスル、本案ハ去ル十九日ニ委員會ヲ開キマシテ政府委員ニモ質問致シマスル、又此前ノ方ニ朱デ書イテゴザイマスノガ衆議院ノ修正デゴザイマスガ是ハ悉ク審査討議ヲ致シマシテゴザリマス、然カ致シマシテ此關稅定率法案ノ第一條ヨリ第八條マデ原案ノ通ニ可決ニナリマシタ、ソレヨリ輸入稅ノ稅率ニ至リマシテ審議ヲ致シマシテゴザイマスガ凡テ政府案ノ修正ノ通ニ全會一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、抑、此法案ハ過日松方首相ガ説明致サレマシタ通條約ノ結果ト致シマシテ始テ我關稅ノ獨立ニナリマスル法案デ最モ重要ナル案デゴザイマス、審議討論ノ上此修正案ノ通ニ可決致シマシタノデゴザリマス、此段御報告致シマス、誠ニ重要ノ案デゴザリマスルガ此定率ニ於キマスルト最高ノモノガ四割五分最低ノモノハ五分ニナツテ居リマシテ平均致シマスルト一割五分餘ニナツテ居リマス、現今ノ稅率ハゴザリマセヌ、原案ニ就イテ御質問ハ政府委員ニ御質問デゴザイマス、尙ホ唯今申述ベマシタ通修正ト申シテモ唯文字ノ修正ダケノコトデアッテ別ニ御議論モナイ法律案カト得マシタノデゴザイマスルデドウカ滿場ノ諸君ガ御協賛アランコトヲ希望致シマス、併テ讀會ヲ省略致サレマシテ直ニ可決アランコトヲ希望致シマス
- 南郷茂光君 賛成

○男爵小松行正君
○男爵小澤武雄君
○男爵菊池武臣君

○調所廣丈君
○男爵安場保和君
○小原重哉君

○柴原和君

○根岸武香君

○子爵立花種恭君

○議長(公爵近衛篤麿君)

○別段御異議ガナケレバ……

○宮本小一君

○(男爵伊達宗敦君)

○(公爵近衛篤麿君)

テ來ルモノデゴザイマスルシ、一割位ノ所ハ課稅ガ過當デハアルマイカト云
フノ考ヘデゴザイマス、他ノ物ノ權衡ト合ハセマシテ斯ノ如ク定メタノデゴ
ザイマス、又今一ツノ此「プラスチック」ノ下ニゴザイマスル類似ノ爆發藥又御
発達ト共ニ鐵道ヲ造ルトカ或ハ道路ヲ開鑿スルトカ隨分唯今ノ狀況ニ據リマ
スルト必要ヲ感シテ居リマスカラ其理由ヲ持チマシテ右ノ類似ノ爆發藥又御
尋ノ「ダイナマイト」是等モ一割五分ニ定メマシタ、二ツナガラ唯今ノ礦業
發達ノ狀況ニ據リマスルト云フト誠ニ必要ノミナラズ、隨分相應ナル收入ノ
増シモアルノデスカラ是レ等ノ必要ト云方カラ參ッテ居リマスカラ餘り高
ク致スヨリモ此法案ノ稅率位ガ至當デハアルマイカト云フニ基イテ居リマ
ス、ドウゾソレニテ御了解ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 別段御異議ナケレバ本案可決スベキモノト認メマ
ス (異議ナシト呼フ者アリ)

○子爵曾我祐準君 本員ハ屯田兵土地給與規則中改正法律案之ヲ本日ノ議
事ニ上ボセテ戴キタイト思ヒマスルニ依クテマダ諸君ノ御手許ニ報告書ガ廻シテ居リマセヌカト思ヒマス、去リタルナレ

ナガラ是ハ誠ニ無事ナ案テゴザイマシテサウ御議論モアリサウニゴザイマセヌ、ソレ故ニ今日追求ヲ願ヒマシタガ、是ハ衆議院ニ回ルト云フト又一日トカ二日掛リマセウニ依クテ無理ニ此所ニ

ニ、衆議院ニ回ルト云フト又一日トカ二日掛リマセウニ依クテ無理ニ此所ニ

ニ、家督人若クハ其家族ニシテ官給ノ土地ヲ給シテ保管スル其方法ガ舊

來ノ土地給與規則ニ於テハ足ラナイ所ガアルニ依クテ此法律デ四箇條ヲ附加
シテ死亡シマシタリ或ハ又兵役ヲ免ゼラレマシタ時ニ兵役相續人ガナカッタ

ヘテ保護ノ制裁ヲ加ヘルト云フマデニ過ギマセウデアリマス、ソレデ委員會ニ
於テハ一人ノ不同意モナク通過致シマシタニ依クテ何卒諸君モ御賛成下サ

ランコトヲ希望致シマス、序ニ今一ツアリマス、明治二十八年法律第二十六

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 諸君、此案ハ漸ク今日委員會ニ於テ審査結了致シマシタ
ゴザイマスガ、是モ矢張リ一割五分、此「ダイナマイト」ハ石ヲ割シタリス

ギルト云フカハ知ラヌガ、是ハ一割五分ヲ一割位ニシタリト思フガ唯今ニナッ
テ修正ヲ致スモ通りハ致シマスマイカラソレハ申シマセヌガ、唯其理由ヲ伺シ
テ置クト又後來ノ参考ニモナルカラ政府委員カラ三箇條ノ答辯ヲ願ヒマス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 宮本君ニ御答致シマスルガ、洋漆デゴザイマ
ス、又支那漆デゴザイマス、洋漆ハ自カラ此支那漆トモ違フ所ガゴザイマ
ス、ソレ相當ノ需要ガゴザイマス、又支那漆ノ方モ是ハ餘程其日本漆ニ比較致
シマスルト色澤モ悪ルウゴザイマス、餘程劣等ニ居リマス、去リナガラ是モ
亦唯今各種ノ漆器ナドガ多クナリマスルモノデスカラ從フテ相當ノ需要ガア
ルノデゴザイマシテ先ツ洋漆モ支那漆モ種類ハ違ヒマスガ多少需要ヲモ増シ

號改正法律案ト云フモノガアルデス、是モ其事柄ハ似寄ツタモノテ理由ハ前ニ申シタノト殆ド同ジテアリマス、是ハ元トタツタ一條シカナカタ法律ヲ四條附加ヘテ五條ニシタノデアリマス、サウシテ是ハ官給ノ矢張屯田兵デアリマスガ今ノヤウニ屯田兵ガ死ンデ相續スル者ガナカツタ時分ニ官給ノ建物馬匹サウ云フモノ、所有又ハ保管スルタメニ屯田兵同様ニ保護ノ制裁ヲ加ヘタイト云フ斯ウ云フ法律デアリマス、諸君ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス、且ツ併セテ二案トモニ讀會省略ヲ請求致シマス

○男爵小澤武雄君 贊成、二ツトモ讀會省略ニ贊成

○調所廣丈君 贊成

○松岡康毅君 本員等ハ今一條モノガ五條ニナルノダト云フ修正ノ趣デゴザイマスガマダ見モ致シマセヌ、考ヘルコトハ諸オキ何ガ書イテアルカ一向分ラヌカラ讀會省略ハ置キマシテ矢張明日マテ御延ベニナルコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) チヨット申シマス

チヨット御待チ下サイ、唯今問題ニナツテ居ルノハ屯田兵土地給與規則中改正法律案デ、便宜上曾我子爵ハ兩方トモ説明ガアリマシタガ一方ノ明治二十年法律第二十六號ト云フ方ハマダ問題ニナツテ居リマセヌ、デ一方ダケ讀會省略ノ動議ニ附イテ議場ノ意見ヲ問フテ居ルノデゴザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵柳澤光邦君 讀會省略ニ贊成

○男爵中川興長君 贊成

○子爵平松時厚君 贊成

○男爵伊達宗敦君 贊成

○森山茂君 贊成

○子爵高野宗順君 贊成

○議長(公爵近衛篤齊君) 読會省略ハ成立チマシタ、讀會省略ニ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト述フル者アリ

然レバ讀會ハ省略ニナリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 本案ハ可決ト見テ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト述フル者アリ

然ラバ本案可決ト認メマス、次ニ今日衆議院ヨリ回ツテ參リマシタ案ガ二ツゴザイマス、矢張政府提出ノ案ゴザイマス、最早餘日モゴザイマセヌカラ此際日程ヲ變更シテ議シテハ如何デゴザイマスカ

「異議ナシ」ト述フル者アリ

然ラバ可決ト認メマス、次ハ明治二十八年法律第二十六號改正法律案

○山田卓介君 讀會省略ニ贊成シマス

○森山茂君 贊成

○湯地定基君 贊成

○子爵西五辻文仲君 贊成

○子爵伏原宣足君 贊成

○男爵平松時厚君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○久保田讓君 贊成

○西村亮吉君 贊成

○根岸武香君 贊成

○男爵伊達宗敦君 読會省略ニ贊成ガアリマスガ全體誰ガ其動議ヲ出シマシタカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 曾我子爵カラ前ノ時ニ出サレタノデアリマスガ……

「前ニ出テ居リマス」ト述フル者アリ

○子爵曾我祐準君 私ハ前ニ請求致シマシタ

○議長(公爵近衛篤齊君) 曾我子爵カラ前ノ時ニ出サレタノデアリマスガトニ致シマス

「今一逼出サナケレバナラヌ」ト述フル者アリ

○此場合ニ曾我子爵ガ動議ヲ出サレタ譯ニ認メテ宜シウゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 読會ヲ省略スルト云フ位ダカラ成ルベク手數ヲ少クスル方ガ宜カラウト思ウテ出シテ置キマシタ

○議長(公爵近衛篤齊君) 併シ前ノハ通用シ兼ネマスカラサウ認メルト云フコトニ致シマス

○子爵曾我祐準君 ソレデハ更ニ請求致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 読會省略ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○男爵伊達宗敦君 贊成致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 読會省略ガ成立チマシタ

○三浦安君 此案ハ修正ガアリマシタ

○子爵曾我祐準君 修正ハナインデス

○議長(公爵近衛篤齊君) 読會省略ニ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト述フル者アリ

然ラバ讀會ハ省略ニナリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 本案ハ可決ト見テ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト述フル者アリ

然ラバ本案可決ト認メマス、次ニ今日衆議院ヨリ回ツテ參リマシタ案ガ二ツゴザイマス、矢張政府提出ノ案ゴザイマス、最早餘日モゴザイマセヌカラ此際日程ヲ變更シテ議シテハ如何デゴザイマスカ

「異議ナシ」ト述フル者アリ

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月十九日

(阪本書記官朗讀)

遠洋漁業獎勵法案

貴族院議長公爵近衛篤齊殿
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス)

衆議院議長鳩山和夫

第一條 遠洋漁業ヲ獎勵スル爲メ國庫ハ毎年度十五萬圓以内ヲ支出スヘシ

第二條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル商事會社ニシテ

自己ノ所有ニ專屬シ帝國船籍ニ登録シタル船舶ヲ以テ勅令ニ於テ指定スル漁獵又ハ漁場ノ漁業ニ從事スル者ニ限り遠洋漁業獎勵金ノ下付ヲ出願スルコトヲ得

第三條 前條ニ依リ獎勵金ヲ受クルコトヲ得ヘキ船舶ハ木製ト鐵製トヲ問ハス登簿順數汽船百噸以上帆船六十噸以上ニシテ農商務大臣ノ定ムル船舶裝規程ニ合格シ其ノ乗組員ハ總員ノ五分ノ四以上帝國臣民ヲ以テ組織シタルモノニ限ル

第四條 遠洋漁業獎勵金ヲ受ケムトスル者ハ其ノ船舶ニ對シ豫メ農商務大臣ノ認許ヲ受クヘシ

第五條 農商務大臣ハ第二條ノ出願者ニシテ漁業ノ組織確實ナリト認ムル者ニハ漁獵ノ種類又ハ漁獵ノ場所ニ依リ定期ヲ設ケ五箇年以内獎勵金ノ下付ヲ許可スルコトヲ得但シ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

一汽船登簿順數

每一年一頓

一箇年五圓

但シ登簿順數三百五十噸以上ハ噸數ニ應シ増加セス

一帆船登簿順數

每一年一頓

一箇年五圓

但シ登簿順數二百噸以上ハ噸數ニ應シ増加セス

一乘組總員

每一年一箇年十圓

但シ勅令ニ定ムル乗組定員以外及年齢十六歳未満ノ者ヲ除ク

第六條 遠洋漁業獎勵金下付ノ許可期間ト雖ニ一箇年中遠洋漁業ニ從事スルコト五箇月ニ満タサルトキハ其ノ年ニ對シテハ獎勵金ヲ下付セス

第七條 左ニ記載スル船舶ヲ以テ遠洋漁業ニ從事スル者ニハ遠洋漁業獎勵金ヲ下付セス

第一此ノ法律施行以後帝國船籍ニ登録ノ際製造後五箇年ヲ經過シタル

外國製造ノ船舶

第二 製造後十五箇年ヲ經過シタル船舶

第八條 農商務大臣ハ第五條ノ許可ヲ受ケタル者ヲシテ遠洋漁業ニ關スル調査ヲ爲サシメ又ハ遠洋漁業練習生ヲ該船舶ニ乗組マシムルコトヲ得

第九條 第五條ノ許可ヲ受ケタル船舶ノ所有者及其ノ承繼人ハ遠洋漁業獎勵金ヲ受ケ漁業ニ從事スル期間並ニ其ノ漁業ヲ終リタル日ヨリ三箇年間

其ノ船舶ヲ外國人ニ賣渡、交換、贈與、質入、書入スルコトヲ得ス但シ

他抗拒スベカラサル強制ニ因リ航行ニ堪ヘサルトキ若ハ農商務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニアラス

第十條 遠洋漁業ノ監督及遠洋漁業練習生ヲ養成スルノ必要アルトキハ農商務大臣ハ第一條ニ掲タル金額ヨリ十分ノ一以内ヲ支出シ其ノ費用ニ充ツルコトヲ得

第十一條 詐偽ノ所爲ヲ以テ遠洋漁業獎勵金ヲ受ケタル者又ハ第九條ノ規程ニ違背シタル者ハ六月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ因テ得タル遠洋漁業獎勵金ハ之ヲ償還セシム

前項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處斷ス

第十二條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法數罪俱發ノ例ヲ用ヰス

第十三條 第五條ノ許可ヲ受ケタル者此ノ法律若ハ此ノ法律ニ基キテ發ス

ル命令ニ違背シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ遠洋漁業獎勵金ノ下付ヲ停止スルコトヲ得

第十四條 前數條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ各條ニ掲タル所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員若ハ取締役ニ之ヲ適用ス

第十五條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ十五箇年間之ヲ施行ス

第十六條 此ノ法律ノ施行ニ必要ナル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

○男爵小松行正君 政府委員ハ居ラレマセヌカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 今呼ビニ遣シテアリマス

(政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 遠洋漁業獎勵法案ヲ提出致シマシタル理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、此法案ノ精神タル既ニ貴族院ヨリモ政府ニ建議モゴザイマシタ、政府ニ於キマシテハ本院ノ意向等モ能ク調査イタシマシテ尙ホ能ク水產調查會ニモ意見ヲ糺シマシテ此ニ提出致シマシタ場合デゴザイマス、今日遠洋漁業ノ必要ナル事柄ハ既ニ私ガ申上ゲルマテモナイカト思ヒマスガ脛腑臍虎事業ノ如キハ追々進歩イタシマシテ漸ク其端緒ヲ見ルニ至リマシタ、尙ホ更ニ進メテ洋海ニ於キマシテハ濫獲ノタメニ磯附ニ於キマシテノ漁業ハ困難ヲ感シテ居リマスカラ、ドウシテモ此遠洋ノ漁業ヲ發達セシムルガ必要デゴザイマス、私が申サヌデモ御承知デアリマセウガ海外ニ於キマシテモ斯ウ云フ主意ノ法律モゴザイマスカラ、ドウゾ御贊成アランコトヲ

○磯邊包義君 此法案ハ如何ニモ結構ナ法案ト存ジマスガ、遠洋漁業ノ遠洋ト云フ區域ハドレカラドレマデノ區域デゴザイマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマス、遠洋ト云フ字ハ少シクハツキリセヌ字デゴザイマスガ詰リ磯附ト云フコトノ反對シタル言葉ト御承知ヲ願ヒマス、素ヨリ洋海ト申シマスルモノハ三海里外ハ皆洋海デゴザイマス、詰リ大洋ニ於キマシテノ漁事、斯ウ云フコトヨリ外ニゴザイマセヌ

○磯邊包義君 唯今ノデハ要領ヲ得マセヌガ大抵區域ハ大凡テ宜シイガ、ドレカラドレマデ、アリマスカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ致シマス、此勅令ヲ以テ規定シテ居ル所ノ漁場ト申シマスモノハ、之ヲ申上ゲマスレバ小笠原附近ノ大洋或ハ琉球トカ琉球トカ或ハ臺灣トカ或ハ朝鮮海支那海或ハ濠洲地方トカ云フ所ノ漁業ノ見込デゴザイマス、併ナガラ其度合ト申スコトニ附キマシテハ一定ノ度合モアリマセヌガ今ノハ場所デ、又漁獵ノ方ハ魚カラキメレバ即チ是マデ沖釣ト云ツタモノ即チ鰹漁トカ或ハ臘虎臍臍トカ鯨トカ或ハ鮪漁トカ云フヤウナモノ即チ大船ヲ以テ冲ニ於テノ漁業ニ從事シ得ラル、モノデ即チ此法律案ニ出テ居リマス所ノ漁獵ノ種類ト云フ方カラ獎勵金ヲ下付シ得ラレルコトニナリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 別ニ御質問セ無ケレバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ御選定アランコトヲ望ミマ

○三浦安君 贊成
 ○議長(公爵近衛篤麿君) 中川男爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ
 次ニ國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル法律案是モ矢張議事日程ヲ變更シテ此際ニアルガ宜カラウト思ヒマス
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ
 是モ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○男爵船越衛君 贊成

(阪本書記官朗讀)

國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル法律案
 右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月十九日

衆議院議長鴻山和夫

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第一條 府縣都市町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國庫ヨリ其ノ費用ヲ補助スルモノニ關シ必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ事業ノ設計施

行管理並經費收支ノ方法等ニ付期間ヲ指定シテ之カ變更ヲ命シ若シ命ニ從ハサルトキハ直ニ之ヲ變更スルコトヲ得

主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業ノ全部若クハ一部ヲ直接施行スルコトヲ得

第二條 前條ノ事業ニ關シ經費ノ負擔ヲ爲シ又ハ經費ノ變更ヲ爲スヘキ場合ニ於テ主務大臣ノ指定シタル期間内ニ之ヲ爲ササルトキハ主務大臣ハ直ニ豫算ヲ定メ又ハ豫算ヲ追加シ若クハ更正シ必要ナル費用ヲ支辨セシムルコトヲ得

第三條 此ノ法律ニ規定シタル主務大臣ノ職權ハ其ノ委任ヲ受ケタル地方長官ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第四條 府縣都市町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國ノ事業ト關聯スル場合ニ於テハ此ノ法律ノ規程ヲ準用スルコトヲ得

第五條 此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(公爵近衛篤麿君) 政府委員が一向參リマセヌカラ次ノ日程ニ移リマシテバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

(男爵安場保和君) 御宣告前ニチヨツト……」ト述フ
 特別委員ノ選舉ニ移ラウト思ヒマス
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ
 然ラバ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○伯爵大原重朝君 特別委員ノ選定ハ定數トシテ議長ノ選舉……

○子爵由利公正君 贊成
 (公爵近衛篤麿君) 大原伯爵ノ動議……御異議ガナクバ其通ニ……
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ
 ○男爵安場保和君 本員ハ家祿賞典祿ノ衆議院送付ノ案、委員會が決了ニナ

リマシテ御報告ヲ致シマシタガ、此議案ハ委員會ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ、最早議事ノ日取モナイコトデゴザイマス、可決ヲ致シマスレバ衆議院ノ方ヘモ回ル議案デゴザイマスカラ唯今ヨリ……聯續シテ日程ノ變更ノ御決議アリマシタガ是モドウカ日程ヲ變更シテ直様……

○柴原和君 贊成

(安場男爵ニ賛成)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤麿君) 安場男爵ノ家祿賞典祿處分法案ヲ直グニ開クト云

(子爵谷干城君) (異議ガアリマス)ト述フ
 起立者
 (異議ナシ)ト呼フ者アリ

少數ト認メマス

(多數)ト呼フ者アリ又(少數)ト呼フ者アリ
 ○議長(公爵近衛篤麿君) 暫ク其儘御立チヲ願ヒマス

(書記官起立者ヲ計算ス)

○議長(公爵近衛篤麿君) 數ヘマシタラ多數ダサウデゴザイマス、議事日程ハ變更ニナリマンタ

○侯爵黒田長成君 安場君ニチヨツト御尋致シマスルガ家祿賞典祿ノ議事ヲ開クト云フコトデゴザイマスガ實ハ我ニ委員ニハ今一ツ祿高整理公債法案ト云フモノガ付託サレテ居リマス、ソレモ矢張併セテ御開キニナリタイト云フ

御考デゴザイマスカ

○男爵安場保和君 左様デゴザイマス、ケレドモソレハ一ツ一ツ申ス積デ居リマシタガソレモ一緒ニ申シマシタ方ガ宜ウゴザイマセウカ……議長

○議長(公爵近衛篤麿君) 安場男爵ハ何デスカ

○男爵安場保和君 是モ同一ニ御付託ニナツタノデアリマスカラ一緒ニ請求シテ置カウカト思ヒマスガ……

○議長(公爵近衛篤麿君) ソレハ別々ガ宜シウゴザイマセウ、委員長ノ報告ハ或ハ便宜デ一緒ニナツテモ宜カラウト思ヒマスガ日程變更ハ別々ガ宜カラ

ウト思ヒマス

○子爵谷干城君 一千万圓ノ公債ヲ先キヘ一ツ御出シニナツタラドウデス、此事カラ御相談フ……

○男爵安場保和君 此法案ガ成立テバ……成立ヲテカラ御賛成ノ上デ……

(子爵曾我祐準君)「第一ノ方ノ報告が出テ居リマスカラ公債ノ方ノハ」ト述フ

(男爵安場保和君)「出テ居リマス」ト述フ

(子爵曾我祐準君)「ドウ云フ報告デスカ」ト述フ

(男爵安場保和君)「可決スベント云フ報告デス」ト述フ

○議長(公爵近衛篤麿君) 成ルベク自己應答ハ御免ラモリマス家祿賞典祿處分法案第一讀會ノ續、特別委員長報告

(侯爵黒田長成君演壇ニ登ル)

○侯爵黒田長成君 唯今議事日程變更ニ依テ會議ニ付セラレマシタ所ノ家祿賞典祿處分法案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、併ナガラ便宜上祿高整理公債法案ト申ス案モ併セテ報告ヲ致シタイト存ジマス、此二ツノ法案ニ付テハ數回委員會ヲ開キマシテ主務大臣竝ニ政府委員ノ説明モ聞キ又見込ノ所モ能ク問ヒ質シマシテ結局委員會ニ於キマシテハ二名ニ對スル七名ノ多數ヲ以テ大體可決スルコトニナリマシテ此賞典祿處分法ノ方ハ多少修正ヲ加ヘルコトニ致シマシタ、元來此祿制ノ事ニ附キマシテハ明治三年ノ藩制施行以來其後廢藩置縣後ニ至リマスマデモ當時ノ藩知事又ハ縣令等ニ於テ祿高ノ調ニ手落又粗漏ナ事がアツタノヲソレヲ引直シテ與ヘタイト云フノガ趣意ニアリマシタ、其當時夫等ノ手落等ノ爲ニ全國ニ不幸ナ士族ガ今日デハ多く出來ルヤウニナシテ居ル實ニ其間ノ事情ハ憫諒スペキモノガ多イト、ソレガタメニ年年巨額ノ費用又時日ヲ費シテ其救濟ノ途ヲ求メテ居ルノデアル、併ナガラ如何セン明治六年ト明治九年ノ布告ガ出マシテ其布告ノタメニ今日救助ヲ求メル途ガナクナシテ居ルノデアル、ソレ故ニ是等ノ憐みベキ不幸ナ士族ヲ救濟シテサウシテ年々巨額ノ費用又時間等ヲ費シテ運動ヲ致スヤウナコトノナイヤウニ致シテヤリタ伊云フコトガ委員會ノ多數ノ意見ニアリマシタ、ソレデ大藏大臣ハ委員會ニ出席ニナリマシテ此處分ノ事ニ關スル意見ヲ述ベラレテ申サル、ニハ前申スヤウナ憫諒スペキ士族等ニハ政府ニ於テハ適當ナル調査ヲ遂ゲテ與フルダケノ理由ノアル者ニハ與ヘルコトニ致シタイトスウ云フヤウナ話デアツタト覺エテ居リマスガ併ナガラ委員會ノ多數ノ分スルコトモ出來ナイ、ソレ故ニ政府ニ於テ調査ヲ致スマデ此度ノ所ハ此衆議院ノ案ヲ否決ニナリタイ、左スレバ此次ノ議會マデニハ適當ナ法案ヲ調製スルナリ又ハ行政處分デ済ムコトデアル者ニハ與ヘルコトニ致シタイトスウ云フヤウナ話デアツタト覺エテ居リマスガ併ナガラ委員會ノ多數ノ人ハ大藏大臣、當局者ニ於テハ最早前ノ當局者トハ違テ全體ニ於テ與ヘル方ノ方針デアルナレバ今日我ニハ此法案ヲ可決シテ置イテサウシテ政府當局者ハ此貴衆兩院ノ輿論ニ從シテ必ズ相當ノ處分ヲスルヤウニナルデアラウ、ソレデ當局者ニ於テ與ヘルダケノ意ガアルモノデアレハ却テ可決シテ置ク方ガ宜イ、斯ウ云フ意見デアツタノデアリマス、ソレデ此簡條ニ附イテ申シマセバ此第一條ニ明治四年七月二十四日ノ布告ニ據テ調ベタ所ノ祿高ニ基クト云フコトヲ書キ加ヘマシテ第四條ノ明治二年六月二十五日太政官達ト云フトニ變ヘタノデアリマス、是ハ明治二年ノ頃ニハ當時ノ士卒等ノ祿高ノ締高ダケガ分クテ居リマシテ一人ドレダケデアルト云フコトハ分カテ居ラスト云フコトデアリマスカラ明治四年デアルト個人々々ノ分ガ分カテ居リマスカラソレデ標準トスペキモノハ明治四年ノデナケレバ實行ガ難イト云フコトデ明治四年ト云フコトニ變リマシタ、勿論明治四年ノ祿高ニ據ルト申シテモ藩制施行以後廢藩置縣後マデモズット掛カテ之ニ照シテ不當處分ヲ受ケテ居ラムノハ請求ガ出來ルト云フコトニナル精神デアリマス、第三條ヲ削除致シマシタノハ是ハ社寺等ノ祿制ノコトハソレゾレ相当ノ處分ガ最早相濟ンデ居ル、此法案ノ眼目トスル所ハ舊士族等ヲ救助スルト云フコトガ眼目デアルカラ此三條ノ規定ハ不必要デアルソレニ依テ是ハ削除ニナリマシタ、ソレカラ第四條ノ所ハ唯今申ス通明治二年ノ所ハ唯今申ス

申シタ譯ニ依テ削除ニナリ、ソレカラ同年十二月二日太政官布告ト申スノガ是ハ中下大夫ト云フヤウナ舊幕ノ旗下ニ關スル規定デアリマスカラ此法案ニ關係ハアリマセヌカラソレ削除ニナリマシタ、ソレカラ十年三月達ト云フモノハ是ハ前ノ條ガ削ラレマシタカラ其結果ニ依テ是モ削除ニナリマシタ、ソレ第三條第四條ト云フモノハ總テ削除スルコトニナリマシタ、實ハ本員ハ一己人ト致シテハ此法案ニ附イテハ不同意ヲ表スル一人デアリマシタガ委員會ノ多數ニ依テ可決ニナリマシタカラ報告ダケハコ、ニ致シテ置キマス

(國務大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)

○國務大臣(伯爵松方正義君) 唯今議題ニ上ボクテ居マスル法案ニ附キマシテハ委員會ニ政府ノ意志ノアル所ハ詳シク陳述致シテ置キマシタヤウナコトデアリマス、丁度今委員長ヨリ報告ニナリマシタ通ノ次第デゴザイマス、全體此法案ニ附キマシテハ政府デハ最早是ハ拒絶シ一切取調ノコトモ致サヌト云フヤウナ譯デゴザイマシタナラバ立法部デ此法律ノ制定モ已ムヲ得又譯デゴザイマセウケレドモ士族ノ憫諒スペキ次第ガアル、是ハ何レ政府モ聞届ケネバナラスト云フヤウナ筋合ノモノハ調査ヲバ精密ニ盡シマシテ成ルベク請求ノ趣意ノ達スルヤウニ運ビハ附ケタイ、併シ多數ノ請求ノ人數デモゴザイマスルナリ又書類モ諸君ガ御承知ノ通ニ澤山ニナシテ居マスルカラ政府ニ委員ヲ組ミマシテ篤ト調査ヲ致シテ其憫諒スペキ次第ノコトハ途ヲ附ケテヤリタイ、併シ已ムヲ得ズ採用スペキ廉ノナイノハ致方モナイガ採用スペキク請求ノ趣意ノ達スルヤウニ運ビハ附ケタイ、併シ多數ノ請求ノ人數デモゴザヤウナ次第ゴザイマス、ソレデ此法律案が出來マシタ所ガ同ジコトデモアリマセウト思ヒマスルガ併シ今委員長カラ述ベラル、通ニ衆議院ノ法律案ニ附キマシテハ藩制ノ時ニ引返シ處分セヨト云フコトデゴザイマシテ、逆モ行政デ出来ルコトデハナイト考ヘマス、ソレハ此政府ニナリマシテ處分ノ基礎ガ大變ナ變動ヲ致シマスルコトハ容易ナラヌ譯デヤラウト思ヒマス、又其正ノ案ニナリマシテハソレハ餘程酌量シテゴザイマスルケレドモ政府デ今ノ藩制ノ時ノ書類ト云フコトハ今ノ政府ニハ書類ガ全クナイト云フテ宜イ、夫意向ガナイト云フコトナラバイザ知ラズ今ノ意向ヲ以テ親切ニ處分ヲシテヤリタ伊云フ意向ガ極シテ居ル以上ハソレニ御任セニナシテ然ルベキコトデマシテ徵證スルコトハ無論出來ルコトデモゴザイマセヌ、併シ此貴族院ノ修正ノ案ニナリマシテハソレハ餘程酌量シテゴザイマスルケレドモ政府デ今ノ意向ガナイト云フコトナラバイザ知ラズ今ノ意向ヲ以テ親切ニ處分ヲシテヤリタ伊云フ意向ガ極シテ居ル以上ハソレニ御任セニナシテ然ルベキコトデハナイカ、畢竟此願意ヲ達スルヤ達セヌカ達シテ然ルベキヤ達シテハナラヌ願意カト云フコトヲ調査シテ相當ナ處分ヲスルト云フ所ガ要點デハナイカラト考ヘマス、ソレデ政府ハ此法案ニ附キマシテハ御同意ハ致シマセヌカラ其事ヲ一言コ、デ陳述致シマス

○男爵尾崎三良君 チヨウト大藏大臣或ハ政府委員モ宜シウゴザイマスガ質疑ヲ致シタウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 唯今大藏大臣ノ御演説ニ此事ハ政府ニ於テモ成ルベクハ十分ノ調査ヲ遂ゲテヤルベキモノナラヤルベキ積デアル單簡ニ申セバサウ云フ御趣意デアツタト思ヒマスガ今日ノ萬事整頓シタ場合ニ於テ行政處分ヲ以テ假令一石ノ祿高タリト雖モ士族ニ更ニヤルコトガ出來マセウカ、ソレガ出

來ルコトナラ誠ニ結構デアリマスルガソレハ何ノ一體規定ニ據ツテサウ云フ
コトガ出來マスルノデアリマスルカ、ソレヲ一つ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣（伯爵松方正義君）唯今ノ御質問ニ對シテ御返事ヲ致シマスガ成ル程私ノ陳述致シマシタ中ニ申残シテ居ルコトモゴザイマス、併シ委員會デハ申置キマシタガ法律ニナシテ處分ヲセヌケレバナラヌダケノ事項ガアルナラバ此次ノ議會ニ提出シマス、又拒絕ガ來ルダケノコトナラ拒絕スルト云フコトヲ申シテ置キマシタガ是ハ調査ノ上デナケレバ判然ト申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ宜シウゴザイマスカ

○男爵周岐二司君宜治少十七人不

○男爵安場保和君演壇

○男爵安場保和君 本問題ニ於キマシテハ委員會ノ結果ハ最前委員長ヨリ申述ベラレマシタ通ノ次第テ更ニ喋々ヲ用ヒマセヌガ唯今此法案ノコトニ就キノニニ憲理大臣ヨリ御意見ノ東北ニ一アノハナク大政研ニ公モアノニハニテ

マシテ總理大臣ヨリ御意見ヲ陳述ニナリマシタ、本政府ニ於キマシテハ士族ノ憫諒スベキ情狀ハ十分ニ酌取ッテ居ルニ依ッテ、何分三十年此方ノ錯雜

致シタ書類モアリ旁ニ十分ニ政府ニ於テ委員ヲ拵ヘテ調査ニ調査此重ネ愈以テ洽スベキハ合シ、洽スベカラドレ者ノハ合ニスト云フ所ノ分界ノ明ニシ

以テ給スベキハ給シ、給スベカラサル者ノハ給セヌト云フ所ノ分界ヲ明ニシテ然ル後ニ法律デ發スベキモノハ法律ニ依リ、行政處分デ行フベキハ行政處

分デ行ヒ部類ヲ取分ケテ其當然ノ道ヲ行フ縷々御演述ニナリマシテ右
様ノ御演音アリマスルベ固ヨリ本員等ガ希望致ス所ノコトハ達スルデアラ

様ノ御趣旨デアリマスレバ固ヨリ本員等が希望致ス所ノコトハ達スルデアラ
ウト存ジマス、併ナガラ此事タルヤ申スマデモナイ、年來藩政施行廢止以來錯

誤誤謬ニ屬シテ與フベキ者ニ與ヘザルト云フ不幸ヲ來シタ者全國中ニ少カラ
ス人數デアツテ即チ比誰所ノ大牧王ニ半フテ一方ニハ大イニ明世ノ餘擧ヲ蒙

又人觀ニアシテ即ち此維新ノ大改正ニ伴フテ一方ニハダイニ明世ノ餘澤ヲ蒙
リ一方ニ於テハ其誤謬ノタメニ大イナル不幸ヲ來タシテ居ルト云フヤウナ有

様デ年々歳々議會開設以來ハ別シテ總代ヲ派シテ請願ニ請願ヲ重ネルト云フ
ヤウナ有義デアリマシタガ政府ニ於キマシテハ一切明治六年ノ布告且双明

ヤウナ有様アリマシタガ政府ニ於キマシテハ一切明治六年ノ布告又明治九年百二十三號ト云フ布告テ如何ナル情實ガアツテモ一切取上げナイト云

ノ大イナル城壁ヲ構ヘテ必死ニ之ヲ拒シデ居ツタ、ソレ故ニ益々士族ノ方ニ
於テハ困窮ヲ重ネテ今日ニ至ツテ居リマシテ實ニ其情狀ハ申スマデモ

於テハ困第ニ困窮テ重ネテ今日ニ至ルテ居リマシテ實ニ其情狀ハ申ヌマテモ
ナイ憫詠ノ至デアル、然ルニ今日ノ政府ニ於キマシテハ唯今申述ベラレマシ

タ通ノ趣旨デアレバ敢テ我ニ於テ之ヲ疑ヒハ致シマセヌ、併ナガラ之ヲ懇願人ノ方ニ於キマシテハ固ヨリ信用ヲ致サヌバ迷惑疑惑ニ觸スルトハ言ヘは是

願ノハ方ニ於キマシテハ固ヨリ信用ヲ致サネハ迷惑惡ニ屬フルトハ言ヘ是
マテ數年來ノ間彷徨ヒ來シテ居ル士族等ガ決シテソレニ安心ハ致スマイト存
ル

ジマス、就キマシテハ政府ニ於テモ明治九年ノ百一十三號ヲ楯トシテ一切如
何ナル精實ガアツテモ給セヌト云フ方針デアリマスナラバ今日此議題ニ上シ

テ居ル所ノ議案ヲ飽クマデ拒バマレノモハ尤ト存ジマスケレドモ矢張其極意ニ及バシ。アラカニシテ、ノソモ吉原ノ寺星ニシテ、所ニ同一轍

趣意ニ於キマシテハ今日我ニガ希望スル所モ政府ノ希望セラル、所モ同一
ニ出テ居リマス以上ハ政府ニ於テ書類錯雜數年ニ亘ツテ居ルニ依ツテ調査ガ

ヲ明ニシテ法律ヲ制定シテ置クト云フ所ノ僅ナル差ニナツテ居リマスレバ我
我委員會ニ於テ反覆討論ヲ盡シマシタ所ノ次第ハ右様ナ政府ノ趣意デアレバ

尙ホ以テ茲ニ於テ此法律ノ限界ヲ定メテ制定ニナツテ而シテ其制定ノ區域内ニ於テ混合錯雜シテ居ル所ノ藩政ノ制定ニ於テ調査ノ不行届トカ誤謬ニ屬

スルトカ或ハ其節故意ニ間違ヘタノモ間ニアルト聞エマスカラ其邊ノ所ハ十分調査ニナツテ之ヲ充テ行ハル、所ノ事實ハ政府ノ調査ニ依クテ實行ニナルト云フコトニナリマシタナラバ政府ノ趣旨モ立チ我ミガ今日主張スル所精ヲ勵スト云フ好結果ヲ得ルデアラウト存シマスカラ我ミニ於キマシテハ何處マデモ今日ニ於テ制定セラレンコトヲ切ニ希望致スノデ、即チ其區界ト申シマスルノハ最前委員長カラモ報告ニナリマシタ修正ノ次第デ、衆議院カラノ案デ見マスレバドウモ此第四條ナドノ所ヨリ致シテ又第一條ニ於テモ少シク缺點ガアツテ遂ニ其衆議院ノ趣旨ヲ貫キ得ナイヤウナ布告ノ文面ニナツテ居リマスカラソレヲ此生殺與奪ノ權ヲ藩々ニ御與ヘニナツテ居ルコトマデモ溯ツテハ決シテ宜シクナイ、ソレデ即チ明治三年九月十日ノ太政官藩制施行任セラル、ト云フ御趣旨ニ基イタニ依クテ是ハ決シテ正當ナモノト見ナイ、ノ布告以來ノ藩々ニ於テ知事ノ家祿ハ十分ノ一ヲ目的ト致シテ各藩適宜ニ改正ヲ致セト云フノ御趣旨ニ基キマシテ各藩區々ニ適宜ノ方法ヲ行ツテ祿制ヲ改正致シタ、其改正致シタノハ例ヘバ甲乙丙丁ノ異動ガアツテモソレヲ適宜ニ申述ベル、ト云フ御趣旨ニ基イタニ依クテ是ハ決シテ正當ナモノト見ナイ、御辯明下スツテ或ハ此荒漠トシテ區界ガ立タナイ或ハ維新ノ始ニ溯ツテ大いハ幸ヲ被リ一ハ不幸ヲ被ツタ云フ所ノ憫然タル士族ノ分ヲ此節復活セシメテ行カウト云フ所ノ趣意ヨリ即チ最前委員長ヨリ報告ニナリマシタ所ノコトヲ修正致シタ譯ニアリマスカラ其邊ハドウゾ滿場ノ諸君ニ於キマシテモ能ク御辯明下スツテ或ハ此生殺與奪ノ權ノ御委任ノコトニマデ至ルヤウナ恐レハナイカト云フコトモ是デハ際限ガナ、斯ウ云フコトデナケレバイカナイト云フコトアレバ、ニ其生殺與奪ノ權ノ御委任ノコトニマデ至ルヤウナ恐レハナイカト云フコトハ右ノ所デ決シテナイ積テ又廢藩置縣後ト雖モ縣令ノ意見次第デ藩制ニ因襲致シテ取調ノ不處置ヲ致シタノモ間ミアリマスカラ、ソレ等ノモノマデ及スヤウニ此節ハ改正イタシタ積、併ナガラ議會ノ日子モ甚ダ切迫デ委員會モ餘程性急ニ討論ハ盡シマシタモノ、時日切迫ノタメニ或ハ法律文ニ於テ、唯今固ヨリ其旨ヲ奉ジテ此修正ヲ尙ホ加ヘルデゴザイマセウガ、其大體ニ於テハ私ハ信ジテ疑ハヌ、政府ノ天下ノ士族ヲ待タル、所ノ處置ニ於テハ是ダケノコトハ是非盡サレヌデハ決シテ平等ノ處置デハナイト信ジマスルニ依テ切ニ此法案ノ實行セラシコトヲ希望致シマス、又之ニ伴フ所ノ公債證書ハ一千万圓ト云フ巨額ニ上ボリマシテ、今日海陸軍ヲ始メ國家必要ノ用途ハ誠ニ今日實ニ驚クベキノ巨額ニ上ボッテ、之ヲ支償スルノ途ニ於テ甚ダ全國ノ官民共ニ憂慮ニ堪ヘヌ次第アリマス中ニ此ノ如キ士族ノ處置ノコトニ一千萬圓ナドノ巨額ニ費スト云フコトハ國家經濟上ニ於テモ宜シクナイト云フ御議論モ或ハアルカモ知レヌ、是モ亦決シテ無理ナラヌ御論鉢ト考ヘル、併ナガラソレハ振回シテ既ニ維新ノ初ニ當ツテ鑄倉建武以來ノ因襲ニ據リ徳川氏三百年來ノ武治ノ世ニ於テ各藩ニ士族ノコトヲ委任シ、藩々ノ政權モ與ヘテアツタト云フヨリ致シテ今日歐米各國ノ景況ニ洞察サレテ即チ維新ノ大業ヲ定メラレマシタトキニ諸藩ニ於テハ誠ニ世界無比ノ大英斷ヲ以テ所有シテ居ル所ノ封土奉還ト云フ世界ニ無類ナ大英斷ヲ以テ封土ヲ奉還シタト云フ曉即チ朝廷

於テモ之ヲ嘉納セラレテ、一旦聞食シ居ケラレマシテ、サウシテ其後又士族ノ功ヲ思食サル、ノ御好意ニ基キマシタカ或ハ又是マデノ維新ノ功モ亦大イニ士族ノ與ツテ力アルト云フ所モ御憲察ニナシト恐察サレマシテ、即チ明治三年ニ於テ尙ホ府藩縣ト云フコトニナリ、藩制改革ノ御布告ニナシテ、即チ士族ノ祿制ト云フモノヲ定メラレマシタ以上ハ其祿制ニ依ツテ均ク其同等ノ者ハ恩恵ヲ被ルト云フコトハ當然ナコトデ其時ノ有司ノ錯誤粗漏ニ依ツテ不幸ヲ被ツテ居ル者ハ今日如何ナル必要ナ用路ニモ差支ヘルト云フコトニモ頗著ナクソレ等ノ者ハ御制定ニナシテ相當ノ御處分ノアルノガ至當ノコトデアツテ即チ之ヲ打替ヘテ申シマスレバ其時最早明治十年ノ金祿公債ノ時分ニ御渡ニナシテ居ルベキ皆ノモノガ今日マデ不幸ニ遭ツテ居ルト云フコトニアリマスカラ、國家必要ノ用途ニモ差支ヘル今日ニモ拘ラズ、是ハドウアツテモ政府ノ義務トシテ御施行ニナラヌケレバナラヌコト、本員ニ於テハ厚ク信ズル、ソレ等ノ所モ多々理由モゴザイマスケレドモ、固ヨリ諸君モ御洞察ノコトアレバ喋々待チマセヌ、大勢ハ此時期ニモ拘ラズ又數年來ニ瓦タ面倒ナルコトニモ拘ラズ願クハ政府ニ於テモ其邊ハ同意ヲセラレテ此制定ニ御同意アランコトヲ希望シ、又滿場ノ諸君ニ於テモ一同御協賛アランコトヲ切ニ希望致シマス

○子爵谷千城君 マダ贊成ノ演説者モ大分アリマスノデスカ通告者ハ……

○議長(公爵近衛篤麿君) 通告ハゴザイマセヌ

○子爵谷千城君 私ハ反対ノ意見ヲ述べタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤麿君) 宜シウゴザイマス

(子爵谷千城君演壇ニ登ル)

○子爵谷千城君 此今出テ居リマスル議案ニ就キマシテハ私ハ全然反対デアル、然ルニ或ル者ハ曰ク是ハ谷モ贊成シテ居ル、同意デアルト云フコトヲ以テ方々ニ言觸ラシテ居ル様子デアリマスガ、谷甚ダ迷惑デアル、是ノミナラズデス、前ノ特別地價修正ノトキモ其通デアル、我ミハ初カラ不同意デアル、不不同意デアルニモ拘ラズ此周旋トカ歎願トカ云フテ出テ來テ居ル人間ハ矢張家ニ歸ツテハ今度ハ谷モ贊成スルゲナ、斯ウ云フコトヲ報告シテ居ル、ソレガタメニ我ミ非常ナ迷惑ヲ被ル、是ハ一言申シテ置カナケレバナリマセヌガ、此案ハ私ハ殘念ナガラ誠ニ反対デアル、安場君ノ御説ヲ承レバ實ニ憫ムベキ士族救ハネバナラヌ、チヨット承ルトナカク御尤モナヤウニアル、

云フコトニ附イテハ此舊藩デ行ツク所ノ例ヲ舉ゲテ御説ヲ申シテ置カウト思フ、私共ノ藩ニ於テハ賞典ヲ行フ場合ニハ格式ガ極卑クシテサウシテ祿ヲ餘計取ツタ者ガアル、ソレハドウカト云フト鄉士ナドト云フモノニナルト多ク取ツテ居ル者ハ三百石四百石モ所領シテ居ルケレドモ其位地ト云フモノハ輕格ト稱ヘテ至ツテ界クイ、所ガ其祿ト云フテ見ルト上等ノ士族即チ馬廻、私共ノ藩デハ二百五十石以上ヲ大身ト稱ヘル其二百五十石ヨリ上ニナシテ居ル、サウ云フモノガ鄉士ニアル、サウ云フモノハドウ賞ヲ行ツカト云フト祿ヲ與ヘズシテ格ヲ與ヘタ、鄉士デ功勞ガアツテサウシテ賞典祿ヲヤランナラヌト云フモノニハ之ヲ馬廻ニシテヤル或ハ小姓組ニシテヤル、サウスルト非常ナ榮譽デアル今ノ華族ヲ賜ツタヨリ一層榮譽デアツク、所ガデス、一ノ御布告ニ依テ華士族卒ト極ツテシマフテカラハ其階級ト云フモノハ一時ニ潰レテシマツタ、ソコデ其時分ノ賞ハ行ハヌナリ階級ハ潰レルナリ、餘程困難ヲシタ、ソコデ其時分ニ餘程執權、權力ヲ執ツタ人ガ最モ階級ノヤカマシイ、人間デアツテ、ソコデ其コトヲ非常ニ憤ツテカラニ士族ノ中ニ又等級ヲ附ケテ、士族ノ中ニ一等士族二等士族三等士族四等士族五等士族ト云フヤウニ同ジ士族ソコデ其時分ニ階級ヲ立テタガマダソレデ慊タラスシテ一等士族ノ上席、二等士族ノ上席或ハ二等士族ノ中席或ハ二等士族ノ下席ト云フヤウニ詰リ九級マデニ分ツタ、ソシナコトヲ先ヅ祿ニ依ラズシテ位地ニ依テ賞ヲト云フ考デアツク、其主意ハ即チ政府ノ今確定セラレテ居ル趣意ト同ジコトデ、先ヅ此如何ニモ尤ナノガ我ミ調べテ見ルニ中ニハアル、斯ウ云フモノハ其真ニ憤ムベキ調査洩レデ已ミヲ得ヌト云フノガヲ何處々々マデモ見限ツテガ、私ニ於テハ國家ノタメト思フカラ假令他カラドウ云フコトヲ言ハレルトモ一向厭ハナイ國ノタメニ決シテ姑息ノ政治ハセラレヌト考ヘテ居ル、デ全體ニ於テハ即チ此政府ノ目的ヲ我ミハ贊成ヲシテ居ル我ミト雖モ決シテ是ハ谷ハ殘忍酷薄ナ奴ト反対者カラ見レバ斯ウ御取込ミニナルデアラウカ知ラヌガ、私ニ於テハ國家ノタメト思フカラ假令他カラドウ云フコトヲ言ハレルトモ一考デアツク、其主意ハ即チ政府ノ今確定セラレテ居ル趣意ト同ジコトデ、先ヅ此如何ニモ尤ナノガ我ミ調べテ見ルニ中ニハアル、斯ウ云フモノハ何處々々マデモ拒絶スルト云フコトハ實ニ情ケナコトデアルカラシテ、是ハ貴衆兩院其他政府ソレト一ツ委員ヲ組ンデ次ノ議會マデニ與フベキモノハ

カラ皆高知アリタリノ有功ナモノデモ何モナシニ行テ居ル、サウ云フヤウナモノデ此衆議院ノ原案ノ通ニシマスト又賞典ノヤリ直シヲセニヤナラヌコトニナフテ來ル、殊ニ此祿制ノコトニ附イテハ高知藩ト云フモノハ一番先キニヤシテ祿券ト云フモノニシテ賣買モ許シテシマフト云フコトニシテ非常ナ處置ヲシタ、ソレニ次デ彦根ガヤッタ、ソレデ後ニ此因循ニ涉フテ永ク元ノ體面ヲ崩サズシテ居タ因循ノ方ノ側ハ餘稅得ヲシテ居ル割ニソレデサウ云フ譯デアリマスカラ此明治一年ノ時分ノコトニ立戾ツテ賞典云々ト云フコトガ出テ來ルトドウ云フ面倒ガ出テ來ルヤラ知レス、是ハサシモノ安場君モ御不同意デアフタト見エル、ソレダケハ幸デアリマスガソレデ到底之ヲ法律ト云フモニシテ出ストドウ云フ結果ニナルカト云フト何カ之ヲ基礎ニ見附ケテ皆種々ナコトヲ追ミ私ハ持出スニアラウ、持出シタ時ハ證據書類ハナシ政府モ實ニ困リ切ツタモノデアル、殊ニ題目ニ一千万圓ト云フ題目ガ掲ゲテアルトソレガ皆配分セラル、モノト考ヘルヤウニナルカラシテハ實ニ其餓虎ノ肉ヲ争フ如キモノデカラニ種々様ミノ困難ヲ惹起ス、衆議院ノ案ハ固ヨリ以テノ外ノコトデアル、ソレカラシテ本院ニ於テ修正ニナリマシタノガモ決シテ満足スペキモノデナソレデ總理大臣ガ演説セラレタ所ガ本員ハ正當ト思フデ如何ニモ氣ノ毒千萬ト云フモノハ調べラレサウシテ政府ヨリ法律ニスト云フヲ可決シテ金ハアルトスウナル、ソレヘ持ツテ來テソコカラモ此所カラモワライノ言ヲ來テハ始末ガ附キハセヌ、是ハ誠ニ人望ノアル議案デアルガ我ニハ國家ノタメニ是ニ反對ヲスルノデアリマス、デ決シテ斯ウ云フコトデカラニ是ガ出來ルモノデナイ、願クハ諸君ドウゾ此案ハ否決シテ政府ノ綿密ナル調査ノ後デ調べテ出タ所ニ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○男爵尾崎三良君 議長
○安藤則命君 議長

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 私ハ贊成デアリマスガ通告ガナケレバソレヘ出テ申述べ

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 演壇ニ登ル

○議長(公爵近衛篤脣君) 安藤君チヨウト待ツテ……

○男爵尾崎三良君 私ハ贊成デアリマスガ通告ガナケレバソレヘ出テ申述べ

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 私モ此家祿處分法案ニ就イテハ委員ノ一人デアリマスカラ贊成ノ所以ヲ極單簡ニ述ベマスルカラドウゾ暫ク御辛抱ヲ願ヒマス、此家祿處分ノコトニ就イテハモウ餘程長イ年數ノ間各藩ノ士族ガソレゾレ請願ヲシテ居リマス事實モ諸君モ御承知デアラウト存ジマス、ソレ等ノコトニ附キマシテハ私共政府ニ居ル時分カラ此明治九年太政官第何十號カノ布告ニ依テ如何ナル事情アリト雖モモウ一切祿高ノコトハ採用セヌト云フコトニナツタ、隨分無理ナコトニナリマスケレドモ其布告テ斷チ切ツテ居タノデアリマス、然ル所ガ其後何分ドウモ是等ハ已ムヲ得ヌト云フコトカラ二三縣ノ士族祿高殊更ニ特旨ヲ以テカラ特別ノ恩惠ヲ以テ與ヘラレタコトガアルノデゴザイマス、ソレカラ此一旦觀念ヲシテ居タ怨ヲ呑ンデモウ仕方ガナイト觀念ヲシテ居タ者ガ彼等ガ斯ノ如キ恩典ニ與ルナラバ我ニモ同

様恩典ニ與ラナケレバナラヌト云々テ希望心ヲ高メテ來テ今日ニ至タノアリマス、此祿高ノコトニ附キマシテ抑々此議會創始以來請願ヲ提出シタコトガ幾何度デゴザイマスルカ歟限りモナイコトデゴザイマス、デ始メ其明治九年太政官ノ布告ニ依クテ縱へ如何ナル事情アリト雖モ一切採リ上ゲヌト云フ布告デアリマスカラソレデカッキリト断チ切クテ仕舞ヲ居タナラバモウ今日ノ如キモノハ出テ來ナイデアリマセウ、然ルニ其後愛知縣デアリマシタカ鹿兒島縣ニドレ丈ヶカアタカト思ヒマス、又其外ニモアツタカト思ヒマス又其外ニモアツタカト覺エマスガ空ニハ覺エマセヌガ一切採リ上ゲヌト云ヒナガラ矢張採上ゲタコトガアルノデ、ソレ故ニアレ等ガ採リ上ゲラル左レバ我ニモ採上ゲテ貰ハナケレバナラヌト段々出テ來タノデアリマス、ソレガ今日マテ積リ積ミテ到底是ハ何トカセニヤ甚ダ不公平ト云フ考ヲ持ツテ來タノデアリマス、ソレ故ニ先刻當局大臣カラモ述べラレマシタ通り是ハ何トカスル積デアル、是マデノ如ク打捨テ、置カナイト斯ウ云ハレタノデアル、其何トカセナアナラヌト云フコトハ當局者ニ於テモナラレタノハ甚ダ我ニ於テモ喜バシヨトデアル、併ナカラ何トカスルト云フコトタケノ茫漠ナコトデハ甚ダ安心ガナラナイ、決シテ當局大臣ハ一時ノ氣休メヲ言フト云フコトハ決シテナイデアリマセウ必ズソレダケノ御考ハアルデアリマセウケレドモ奈何ゼン法律デモ制定シテヤルト云フコトヲ極メ又以上ハ行政處分デハ出來ナイト私ハ考ヘルノデアリマスデ今當局大臣ノ御答デハ取調べタ上至當ナ所ニ處分ヲスルトソレニ就イテ私ハ第十一議會ニ法案ヲ提出スルコトニナルカモ知レヌトスウ言ハレマシタガシテ見ルト或ハ法案ヲ提出セズニ仕舞フコトガアルカモ知レヌト云フ意味合テアリマスカラ私ノ考デハドウシテモ法律ノ力デナクンバ今改メテ舊イ士族ニ祿ヲヤルト云フコトハ出來ナイドウシテモ法律ノ力ガ必要デアルデ今谷子爵ガ論セラレタ通是ハ政府ニ於テモヤラウト云フ考ガアル又貴衆兩院ニ於テモヤラナケレバナラヌト云フ考ヘデアル以上ハ委員デモ設ケテ篤ト取調ベタ上デ致シタラ宜カラウ、ソレナラ同意ト云フ御説デアリマシタガソレモ至極結構ナ方法デアリマセウ、併ナガラ最早今日議會モ僅ナ日數ニナツテ居シテ委員ヲ設ケテ取調ベルト云フヤウナコトハ出來ナイ、出來ナイト見ル以上ハ今日此法律ヲ制定シテ置クノガ必要デアル、又當局者ノ考ニ適合スルタメニモ此法律ガ必要デアラウト思ロマス、テ此法律案其モノニ就キマシテハ色ニ増減モアリマスガ詰リ此衆議院提出ノ通リデハ何分餘リ區域ガ廣過ギテ是デバ當局者ガ甚ダ困ルシ又斯ノ如クシナクシモ宜イト云フ考カラ委員ニ於テ修正ヲ致シタ譯デアリマス、此修正ヲテ藩制後ノコトニ就イテ處分ニナルノデアリマス、ソレカラ又谷子爵ハ一體見マスレバサウ其藩制ノ時分マデ迦シテ祿高ヲ處分スルト云フ譯デハナインテ間ノ處分ハ決シテ今日ドウト云フノデハナイ、生殺與奪ノ權ヲ與ヘラレテ居タル此藩主ニ皆ハ生殺與奪ノ權ガ與ヘテアツタニ依クテ縱へ如何ナル不公平ガア後ノコトデ處分漏レニナツタモノヲ處分シヤウトスウ云フノデアル、ソレハドウデアルカナレバ明治三年九月十日ノ太政官ノ布告、其トキ藩制ヲ布カレタ其時ノ憲法ミタイヤウモノデアリマス凡ソ死刑ハ勅裁ヲ經テ處シロ、又祿ヲ功アタテ祿ヲ増シ罪アツテ祿ヲ減ズルハ勅裁ヲ待テトスウナツテ居リ

マス、シテ見レバ明治三年藩制施行後ノ藩知事ト云フモノハ生殺與奪ノ權ハナイノデアル、其後ニ定ツタモノヲバ或ハ不當ニ家祿ヲ減ジタリ又マダ藩知事ノ時ノミナラズ縣令ニナクテモ調ノ粗漏手落ニ依テ貰ヒ落ニナクテ居ル者ハ等ハ篤ト調ベタ上デ果シテ有司ノ粗漏手落ニ依テ貰ヒ落ニナクテ居ル者ハ此所デ之ヲ此法律ニ依サテ處分シヤウト云フノデアリマス、夫カラ又高知縣ノ例フ引カレマシタガ、賞典祿ノ代リニ格ヲ遣ツタ、ソレ等ノ格ト云フモノハ廢藩置縣ノ際ニ丸テナクナクテ仕舞ツタ、是等マデドウスル譯ニハイカナイト云フ御説デアリマシタガ、無論其藩知事藩主ト云フ者ニハ生殺與奪ノ權ガ與ヘテアツタノデ祿ノ代リニ格ヲ遣ラウガ格ノ代リニ祿ヲ遣ラウガソレハ問ハヌ、其後ノ事ニ付テノ處分法デアル、隨分其中ニハヒドイノモアル、先ヅ一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ第二條ノ所ニ於キマシテ此明治六年十二月太政官第四百二十五號布告ニ依リ處分ヲ受ケタル者ニシテ其祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アルモノハ云々ト云フコトガゴザイマスが是等ハ一旦其家祿ヲ返上シテ歸農シタイ者ハ歸農シロ、然ルトキニハ一時其家祿ノ何年分ヲ賜ハル斯ウ云フ布告デゴザイマス、其布告ノ主意ヲ奉體シテ家祿奉還ヲ願ツテ出タル者ガアル、所デ何デモ永世祿ハ八年分トカ終身祿ハ何年分ト極ツテ居ルノヲドウ云フ都合デアツタカ其中半分ヨリ渡サナカツタ、三分ノ二ヨリ渡サナカツタ様ナコトガアル、是等ハ全ク其時ノ縣令ノ粗漏デアリマス、是ナドハ無論調ベタ上デ其實證ガアルナラバ今日カラ給シテ……已ニ今日マデ貰ハヌノハ其人ニ對シテ氣ノ毒ナ譯デアル、ソレカラ又三十年來ノ書類ヲ取調べルコトモ出來ズ取調べテモナクナクテ居ルト云フ御説モゴザイマシタガ、成程舊藩ノ書類ハ散亂シテ調ベルコトハ出來マスマイ、併ナガラ藩制施行後ノ書類ハ多クハ大藏省杯ニ取集メタト云フコトデアリマスルガ、併ナガラソレモ古イコトデアリマスルカラ隨分散逸シテ分ラヌノモアリマセウ、其分ラヌノハドウモ仕方ガナイ、證據ノナイモノハ遣ル譯ニハイカナイ、縱令願人格之ニ相當スル者デアツモ何モ證據ガナイ以上ハ仕方ガナイカラ是ハ其法律ガ出タルト云フテモ證據ノナイニ續々遣ルト云フコトハナラスト思ヒマス、又是ガ出タナラバ續々種々ナコトヲ持ヘテ出ルデアラウト云フ、ガソソナ持ヘ物ハ取ラヌ、幾許カ事實ノアルヤウナモノデモ書類カ證據カ何カ確實ナル證據ガ無イ以上ハ跳ね除ケルノデアル、況ヤ持ヘテ出ル者ニ遣ラウ道理ハナイ、夫等ハ此事ニ關係スル當局ノ役人杯ヲ信用シテ持ヘ出タヤウナ者ニハ決シテ遣ラヌト云フコトヲ確信シテ御心配ニハ及バコトデアルト存ジマス、依テハ是ハ今ノ如ク取調べテ遣ル積ダト云フ當局者ノ說デアリマシタケレドモドウシテモ法律ノ力ニ依ラヌ以上ハ遣ルコトハ出來ナイ、法律ノ力デナクンバ遣ルコトが出來ナイト極メマシテ之ニ由テ確實ナルモノヲ取調ベテ處分ヲ致シタ方ガ得策デアラウ、又多數ノ士族モ各縣各地方ヨリソレゾレ入費ヲ使ツテ貧乏ノ上ニ貧乏シテ年々奔走シテ今日ノ家業ニモ就カズニ其筋ニ歎願スルト云フ様ナコトハ誠ニ是ハ氣ノ毒ナ有様デアリマスカラ、成ルベク貰ヘル者ト貰ヘヌ者ト區別ヲ判然法律デ定メテ置カレタ方ガ縱令之ニ漏レル者ニシテモ早ク斷念ガ付イテ御慈悲デアラウト思ハレル、又此恩典ニ浴スル者ハ尙更ノコト、ソレカラ又之ヲ處分スルニ附イテハ之ニ連帶シテ居ル祿高整理公債法案ト云フモノガゴザイマスガ、是ハ即チ千万圓ノ豫算デ、千万圓ト云ヘバ餘程金高ハ多イヤウデアリマスケレドモ是ハ今日一時ニ之ヲ

〔子爵谷干城君「維新ノ事業ヲ贊成シタ士族ハアリマセヌ、其事業ヲ贊成シタ士族ハ賞典祿ヲ貰ツテ居ル」ト呼フ〕

○子爵谷干城君 チヨット質問ガアリマス、此明治三年ニ藩知事ノ時分ニハ

其處分漏ノ者ニシテ處分漏ノ誠ニ可愛サウナ憫然ナ者ニ是位ノモノヲ遣サテモ差支ナイト云フコトヲ信用致シマス、依ツテ何トカ速ニ之ヲ贊成アランコトヲ希望致シタイ、續イテ願ハクハ是モ讀會ヲ省略シテ直様御決定アランコトヲ希望致シマス

○子爵谷干城君 チヨット質問ガアリマス、此明治三年ニ藩知事ノ時分ニハ

アナタ方ハ藩ノ事ヲ御取扱ガナイカラ知リマスマイガ、成ル程生殺與奪ノ權ハ其時分ニハ無クナシテ居ツタ、併ナガラ伺出サヘスレバ悉ク其通ニナル、

ワレデ今之ヲ伺出テ斯クシマスト云フコトハ伺デ遣サテ居ツタノデアル、ソレデ其時分ノ御主意ト云フモノハ斯ウ云フ理窟デ成ルタケ其朝廷へ此士族ノ煩ヤ何カラ掛ケヌヤウニ祿高ナドハ成ルベク少クシテ後トデ御厄介ノ掛ラヌ

ヤウニト云フモノデ面倒ヲ藩主ニサセタノデ、又藩主モ三百年來ノモ自分サヘモ何十万石ノ祿ヲ差上ゲル位デアルカラ決シテ不平ハ言ハレヌ惡ク言ヘバ酷ニ一旦減ジタソレガ即チ朝廷ノ御爲ニシタノデソレデ藩主ノ處分ト云フモノガ藩ニナクテカラモ朝廷ニ悉ク爲サレタカト云フトサウデナイ、唯…

〔男爵尾崎二良君「ソレハ分ツテ居リマス」ト述フ〕

○議長(公爵近衛鶴齋君) 成ルベク議論ニ涉ラヌヤウニ御質問ヲ…

○子爵谷干城君 ……知ラヌ人ハサウデアラウガ私ナドハ其伺ツシタトキニ即チ宜イ切リテアラウト思ヒマス、縣知事ト云フモノヲ初テ朝廷カラ新ニ置カレテ、是マデノ舊藩主ハ皆…

〔男爵尾崎二良君「ソレガ御質問デスカ」ト述フ〕

○男爵尾崎二良君 ソレガ御質問デスカ、御議論ノヤウデアリマスカ、御議論ノヤウデアリマスガ、御質問ヲ…

○子爵谷干城君 ……知ラヌ人ハサウデアラウガ私ナドハ其伺ツシタトキニ

腹ヲ切ラシタコトガアル

○男爵尾崎二良君 ソレガ御質問デスカ、御議論ノヤウデアリマスカ、御質問ヲ…

○子爵谷干城君 ……知ラヌ人ハサウデアラウガ私ナドハ其伺ツシタトキニ

腹ヲ切ラシタコトガアル

○子爵土方雄志君 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

〔馬屋原彰君「討論終結ノ前ニ一言申シタイ」ト述フ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 討論終結ハ賛成ガアリマスカラソレニ附イテ決ヲ採リマス、討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

多數ト認メマス、然ラバ本案第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案第2讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〔少數ト呼フ者アリ〕

〔多數ト呼フ者アリ〕

少數ト認メマス

〔異議ヲ申立テマス」ト呼フ者アリ〕

然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告致シマス、出席總數百三十二、可トスル議員六十八、否トスル議員六十四、本案ハ第二讀會ヲ開クベシト決シマシタ

○子爵土方雄志君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ

〔賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 直ニ第二讀會ヲ開クベシト云フ動議ガ出マシタガ開クベシト云フニ御異議ガナクバ……

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

然ラバ第二讀會ヲ開キマス、第一條第二條ヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 直ニ第二讀會ヲ開クベシト云フ動議ガ出マシタガ開クベシト云フニ御異議ガナクバ……

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

家祿賞典祿處分法

第一條 明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治九年八月太政官第百八號布告及同年十二月太政官第百五十二號布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケタル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治九年八月太政官第百五十二號布告ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

第二條 明治六年十二月太政官第四百二十五號布告ニ據り處分ヲ受ケタル者ニシテ其ノ祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治六年十二月太政官第四百二十六號布告第一條ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 第一條、第二條御發言ガナクバ採決ヲ致シマス、委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第三條、第四條、是ハ委員會ノ修正ハ全部削除ニナシテ居ルノデアリマス

第三條 明治三年十二月太政官布告社寺領上知ノ當時配當祿ヲ有シタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治十年三月太政官第三十二號布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケタル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治十年三月太政官第三十二號布告ノ率ニ據リテ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

但舊領主ノ寄附シタル社領ヨリ配當ヲ受ケタル者及朱黒印地除地並ニ舊領主ヨリ寄附シタル寺領ヨリ配當ヲ受ケタル者ニシテ給與ヲ得サル者ハ本條ニ據リ之ヲ給與ス

第四條 削除 第一條及第二條ノ祿高ハ明治二年六月二十五日行政官達同年十二月二日太政官布告ニ基キ及第三條ノ祿高ハ明治十年三月大藏省乙第十二號達ニ基キ各調查シタル祿高ニ據ルモノトス

〔特別委員修正案〕

第三條 削除 第一百八號布告第一條及同年十二月太政官第百五十二號布告ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

第二條 明治六年十二月太政官第四百二十五號布告ニ據リ處分ヲ受ケタル者ニシテ其ノ祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治六年十二月太政官第四百二十六號布告第一條ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

第五條 第一條第二條及第三條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルハ明治八年九月太

(特別委員修正案)

第一條 明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治九年八月太政官第百八號布告及同年十二月太政官第百五十二號布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケタル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者明治四年七月二十四日祿高ニ關スル太政官布告ニ依リ調査シタル以後ノ祿高及其ノ調査以前ニ係ル藩制施行以後ノ祿高ニ錯誤アルトキハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ本人又ハ其ノ家名承繼人ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治九年八月太政官第百八號布告第一條及同年十二月太政官第百五十二號布告ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

但常事犯ノ爲沒祿若ハ減祿セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 明治六年十二月太政官第四百二十五號布告ニ據り處分ヲ受ケタル者ニシテ其ノ祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治六年十二月太政官第四百二十六號布告第一條ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

○議長(公爵近衛篤齊君) 第一條、第二條御發言ガナクバ採決ヲ致シマス、委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第三條、第四條、是ハ委員會ノ修正ハ全部削除ニナシテ居ルノデアリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 第一條御發言ガナクバ採決ヲ致シマス、委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第三條、第四條、是ハ委員會ノ修正ハ全部削除ニナシテ居ルノデアリマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 是ハ原案デ決ヲ採リマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者 ナシ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 起立者アリマセヌ、即チ削除ニナリマシタ、次ハ修正ノ第三條ヨリ第五條マデ

第五條 第一條第二條及第三條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルハ明治八年九月太

政官第一百三十八號布告ニ據リ取調ヘタル既定ノ石代相場ニ據ル
ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ツヘシ

但本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ願出サルトキハ本法ノ給與ヲ受クル
コトヲ得ス

附則

第七條 此ノ法律ニ抵觸スル法律命令ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ效力ヲ
失フモノトス

(特別委員修正案)

第三條 第一條及第二條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルハ明治八年九月太政官第
百三十八號布告ニ據リ取調ヘタル既定ノ石代相場ニ據ル

第四條 第一條及第二條ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ其ノ理由及證據ヲ具シ
地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ツヘシ

但本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ願出サルトキハ本法ノ給與ヲ受クル
コトヲ得ス

附則

第五條 此ノ法律ニ抵觸スル法律命令ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ效力ヲ
失フモノトス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ修正ノ通ニ決シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○男爵尾崎三良君 〔二讀會ハ終リマシタ〕
〔二讀會ハ開カレンコトヲ希望致シマス
〔賛成〕ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異議ガナクバ
直ニ開キマス(朗讀ハ省略致シマス)

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御異議ガナクバ可決スベキモノト認メマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ確定致シマシタ
○男爵安場保和君 唯今可決ニナリマシタル原案ト最モ密著ナル議案ノ祿高
整理公債法モ是亦議事日程ヲ變更シテ唯今議事ニ付セラレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 祿高整理公債法案ヲ直ニ開クト云フコトニ御異議
ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第一讀會ノ續ヲ直ニ開キマス
〔賛成〕ト呼フ者多シ

○子爵谷干城君 本員ハ意見ガアリマスカラ委員長が先刻陳ベマシタノハア
レデ宜シウゴザイマスカ
○議長(公爵近衛篤磨君) アレデ濟ンダノデス

○男爵尾崎三良君 〔讀會省略ヲシテ直ニ決セラレンコトヲ希望致シマス
〔賛成〕ト呼フ者アリ〕

○子爵谷干城君 ソレヂヤ反對ノ意見ヲ陳ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 大變是ハ皆……定足數ニ足リマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 未ダアリマス

斯ウ云フヤウニ聞エルガ實ニ今日ハサウ云フ呑氣ナ時デアルマイト思ヒマ

ス、ソコデ是ハ最早アノ法律案ガ成立シタカラ言フテモ駄目デアリマスガ此

一千萬圓ノ衆議院カラシテ回ツテ居ル割出ハ何カラ割出シタカト云フト即チ

此今ノ法律ノ第三條四條アリマスガ御維新ノ初メ即チ明治二年カラノ不公

平ニナツテ居ルモノヲレヲ救ウテヤラウト云フノガ目的デ千萬圓ト云フモ

ノニナツタモノト見エル成ル程アノ時分ノ……所謂アノ時分デ言ヘバ即チマ

ノ謀反ト云フ理窟チャ、自分ノ君ニ反キ朝廷ニ反イタ其人等ニマデ恩典ヲ及

スト云フコトハ今可決セラレタ法律デ許サレヌト云フコトニナツタサウシテ

見ルト後ハ實ニ少イモノテ決シテ此様ニイリハシナイ、私共ガ調べテアリマ

ス、決シテワソナニイラウ皆ガナイ餘程僅ニ減ルト思フ是ハ亦出サナクテモ

法律ノ結果トシテ政府ハ其法律ニ適フタダケノガハドウシテモ是ハ豫算ニ組

シテ出サンナラヌ、決シテ斯ウ云フ法律ヲ捨ヘル必要ハナイ、ソレデ其時ニ

政府ガ是ミノ公債ヲ與ヘルト云フコトデ政府カラ法律ノ結果トシテ豫算ニ出

スト云フコトニシタラ極穩當ナ話デアル、若シ此一千万圓ト云フモノヲ此大キ

ナ金ヲ此處デ議決シテ置キマスルトドウ云フ結果ニナルト云フト初モ言フタ

通皆是ハ困窮シテ居ル者が餓虎ノ如キ勢ニナツテ居ル、ソレガ皆ソレヲ當込

ムヤウニナツテハ却クテ大變惑ト來スノデアル、是ハドウゾ諸君今ノ法案ニ

御賛成ニ拘ラズ是ダケハ否決シテ御置キナサレタ所が諸君ノ決シテ目的ハ達

セラレ又コトハナイ法律ノ結果トシテ出テ來ル者ハ救ハネバナラヌカラ達セ

ラレヌコトハナイ、ソレニ拘ハラズ大キナ一万圓ナゾト云フモノヲ出掛ケル

ト何カ其旨サウナモノヲ見掛けテ言ハバ其物ガ既ニ斯ウ云フコトニナツテ居

ルカラト言フテ非常ナ希望ヲ懷クヤウニナルトキハ是ハ害アツテ益ノナイ譯

ダソコデ是ハドウゾ御不同意デ廢案ニナランコトヲ希望致シマス、是ハ定メ

テ御異論ハアルマイト思フ即チ法律ノ結果デ決シテ諸君ノ御見込ニ違ハヌヤ

ウニ出來ル

○子爵曾我祐準君 委員長ニ御尋致シタウゴザイマス、私ハ餘儀ナイコトガ

アツテ缺席ヲ致シマシタガソレ故ニ委員長ノ説明モアリマシタカ存ジマセヌ

ケレドモ更ニ伺ヒタウゴザイマスガ此處分法案ヲ修正ナスカナラバ今モ言

ハレル通甚ダ密著ヲシテ居ル祿高公債ニハ必ズ修正ヲシナクチヤナラヌ、然

ルニ片一方ニハ非常ナ修正ガアツテコチラハ一文字モ修正ガナイコトハ如何

ナ理由デゴザイマスカ如何ナ御計算デゴザイマスカ、承シテ置キタウゴザイ

マス

(男爵安場保和君) 委員長御答ヲト述フ

○侯爵黒田長成君 私ハ此二ツノ法案ノ委員長ヲ致シテ居リマスガ先刻ノ報

告ノ際ニ申シマシタ通り私一個人トシテハ兩方トモ否決スヘキモノニアルト

云フ考ヲ持テ居ル委員ノ多數ノ意見ヲ代表シテ申シタダケノコトデゴザイマス、委員ノ多數ニ於テハ一方ハ修正シテ一方ハ修正セズト此儘デ宜シト云フコトデアツクノデアリマシテ一向其邊ノ一方ノ方モ修正シナケレバナラヌカ、ドウカト云フ議論モ何モナク全然可決ニナシタノデゴザイマスカラ委員會ノ模様ダケノコトヲ御報告シテ置キマス

○柴原和君 唯今ノ曾我子爵ノ御問ヒニハ私ハ委員デゴザイマスカラ取調べ書類モゴザイマスカラ書類ニ據ツテ御答申シマス

○子爵曾我祐準君 ドウゾ御答ヲ承リマセウ

○柴原和君 是ハ則チ唯今委員長ガ申サレル通委員會デハ餘り研究ハシマセヌ、本員ノ持チマシタ書類ニ據ツテ調べテ見マスト衆議院ハ矢張此一千万圓ヲ範圍ト致シマシタノハ唯今處分法案ノ決定ニナリマシタル即チ明治三年九月十日以後ヲ目的トシテ其前ニハ遡ラヌデ然ルニ衆議院ノ案ノ第四條ニハ明治二年六月二十五日云タトゴザイマスカラ其遡ルト云フ嫌ガアルト云フ所デ即チ委員會デハ之ヲ決定致シマシテ第一條ノ修正ヲ致シマシタ決シテ以前ニ遡ル調デハ衆議院モナイ、此調ハ何ニ據ツタト申シマスルト即チ貴衆兩院ニ續々ト請願ヲ致シマスル其請願人ニ皆書面ヲ送リ其書類等ニ據ツテ調べタ金高ガ詰リ七百三十三万一千五百三圓ト云フモノニナシテ居ル、然ルニ又是ニ就イテハ調漏モ出テ、サウシテ後カラ金高ガ挿入スルヤウナコトデハナラヌカラ大キク見テ一千万圓トシタト云フコトデゴザイマスカラ衆議院モ唯今谷

子爵モ申サレル通チヨットモ其以前カラ數ヘタノデハナイノデゴザイマス、即チ衆議院モ明治三年九月十日太政官布告藩制施行ノコトヲ以テ定メラレタノハ一千万圓デアルト存ジテ居リマスマダ御分リニナリマセヌカ

○子爵曾我祐準君 矢ツ張リ分ラヌ七百万圓ノヤウニモアリ千万圓ノヤウニモアリマスガ其所ヲハシキリ……

○柴原和君 唯今出テ居リマスノハ通算シマスト七百三十三万五千五百三圓トナツテ居リマス、ソレハ即チ唯今出テ居リマスガ願ヒ漏ノ分モ定メシ出ルダラウ三百万圓バカリモ出レバ十分ダラウト思フ、是ハ士族バカリデハゴザイマセヌ、卒ノ處分モアリマスガ澤山ハナカラウト考ヘマス、チヨツトソレダケヲ……

○子爵曾我祐準君 本員ノ元來御尋申シタノハソレデハナイ、一方ハ修正ヲデ修正ガ付イテ居ラヌト云フモノハ如何ナル御見込デゴザイマスカト云フコトヲ御尋ネシマシタ

○柴原和君 是ハ先刻モ申シマシタ通決シテ衆議院ノ修正シマシタモノニ一ツモ關係ハナイト本員ハ認メマス、ト云フモノハ衆議院ハモトヽ明治三年九月一日ノ太政官布告ニ溯ラヌデ……本院ガ修正シマシタ第四條ノ文字、ソレヨリ前ニ溯ルヤウナル嫌ガアルニ致シマスルデ修正ヲ致シタノデゴザイマス、決シテ衆議院ノ趣意トハ少モ違フテ居ラヌト考ヘマスルカラ金額ニモ差違ヲ生ゼト本員ハ信ジテ居リマス

○子爵谷干城君 チヨツト柴原君ニ御尋シマスルガ詰リ安場君ノ御話ヲ承、ト御尋ネシマシタ

○子爵谷干城君 チヨツト柴原君ニ御尋シマスルガ詰リ安場君ノ御話ヲ承、ノハ明治三年以後ノモノデゴザイマスカ、ソレハ私抒ノ手許ヘ來テ居ル古イノガ箇々ニ計算スルトソレ程ニナル隨分大キナ金高ニナルヤウニ除クベキモノハ除イテ七百何十万圓ニナリマスカ、ソコハ計算ハドウナシテ居リマスカ

○男爵安場保和君 唯今曾我君及ビ各君ノ御問ニ私ハ委員會デ公債ノ方ニ修正ヲ加ヘヌ次第ハ唯今柴原君カラ申述ベシタ通リデ是ハ衆議院ノハ明治二年元年ニモ溯ツテ行ク法案デアラウト云フ曾我君ハ御疑カラ委員會デ修正ヲシタナラ金額が減ズルデアラウニナセ手ヲ付ケヌカト云フ御主意カト思ヒマスガ是ハ即チ柴原君カラモ申サル、通衆議院ノ立案ノ趣意モ明治三年ノ藩制即チ之ヲ分ケテ言ヘバ生穂與奪ノ權ヲ持ツテ居ツタ時ハ藩デハナイ、即チ明治三年ノ九月十日ノ布告ニ依ツテ藩制ヲ仰出サレテ即チ生穂與奪ノ權ヲ朝廷ニ收メラレテサウシテ藩ニ適宣ニ改正ヲ致シタトキハ祿制ヲ本トニシテ其祿制ト云フモノハ即チ此銘々ノ何方ノ藩ニ於テモ何ノ某何石何斗ヲ給シタト云フ明細ナル締高ヲ以テ各々居出テアルカラ太政官ニ於テハ其各項ノ金祿高ハ分ラナイ、ソレデ明治四年ト云フコトヲ委員會デハ入レマシテ即チ明治四年ノ藩制……廢藩置縣ヲ仰せ出サレタ時ニハ家祿ノコトニ餘リ依頼ハセヌ、即チ藩制ノ時分ニ知事ノ家祿十分ノ一ト云フノヲ模範トシテ成ルベク制限ヲ加ヘテ適宜ニ改正ヲセヨト云フ其御趣旨ニ基イテ即チ明治三年九月十日ヨリ明治四年四月ニ至ルマデ各藩區々ニ改正ヲ致シタ、其モノハ例ヘバ甲乙不平ガアツテ所謂適宜正當ナルモノト看做シテソレヲ基トシテ其適宜正當ナルモノニ比較ヲ致シテ調べ漏レトカ錯誤トカ言フノガ即チ此案ニ當ル所ノモノニアルカラ即チ衆議院ノ趣意モサウ云フ趣意デアルノヲソレヲ補フテ斯ノ通第一條ニ修正ヲ加ヘタノデ即チ右ノ趣旨ノ嫌ノアル所ハ明治二年ナドト云フ第一條ノ疑ハシイノヲ削ッタト云フスウ云フ結果デアリマスカラ即チ公債證書ノ方ノ法案ニハ手ハ入レヌ即チソレヲキツチリ何百何十万圓ト云フノデハナイ、凡ソラ見積ツテ衆議院デモ一千万圓ト限ツテアルカラソレヲ即チ行政處分ノ方ニ於テ總理大臣始メ政府ノ言フ所ヲ即チ實際ノ調査ノ結果ニ依ツテ給スルカラ或ハ我ミノ腹案ガ六七百万圓ヨリ減ズルカモ知レヌ、或ハ其結果ニ依テハ今マデ願出テ居ル家祿賞典祿給與明細取調表ト云フモノヲ衆議院デハ拵ヘテ居ルガソレヲ直接ニ分ツテ居ルノヲ調べテ見マスレバ此中カラ隨分減少スルノモアラウト思フ、併ナガラ又之ニ漏レテ居ルノモアラウト思フ、ソレデ多數ヲ以テ公債證書ノ凡ソ一千万圓ト云フ見積ヲ以テ其一千万圓ト云フ文字ニ現レテ居ルカラ其邊デ御了解下ヌカテ……併シ是デ不相當ト云フ御意見ガアルナラバソレニハ幾重ニモ從ヒマス

○子爵谷干城君 チヨツト安場君ニ御尋シマスルガ詰リ安場君ノ御話ヲ承、テ見ルト凡ツ是ハ未定ナ御調べト考ヘマスガ凡ソドレ程イルデアラウト考ヘラレルノデアリマスカ、サウシマスルト本員ガ今申シタ是ガナクテモ法律ノ結果トシテ一千万圓ナレバ一千万圓政府ガ出ス、又七百万圓ナリ九百万圓ナレバソレダケデ宜カラウ、最モ熱心ナル安場君ト雖モ此法案ガ最モ必要デアルト云フ程ニハ御考ガアルマイト受取ラル、デゴザイマスガ、ソコハドウ云フ御考デアリマスカ

○男爵安場保和君 丁度御察シノ通デアレハ餘リ重キヲ置カヌカラ

○子爵曾我祐準君 本員ハ最モ此案ハ否決スベキモノト思ヒマス、其理由ハ先刻谷君カラ辯ゼラレマシタカラ牒タシマセヌガ今熱心ナル贊成諸君ニシテモ七百万圓デ行クノヲ三百万圓ノ懸直ガアルヤウナ御話、ソレデハ調査セネバ分ラヌ、斯ノ如キ空漠タル案ハ最モ否決スベキモノト思ヒマスニ依ツテ私ハ否決ニ贊成デゴザイマス

○子爵堀田正義君 モウ一通柴原君ニ質問致シマスガドウモ先刻カラ曾我君
ヤ何カノ質問ニ對シテ答辯ノ要領ガ分ラヌ、詰リ柴原君ノハ委員ノ說デハナ
イ、柴原君一已ノ御說デアラウカト思フ、詰リ此三條ト云フモノハ矢張之ヲ削
除ニナツタ以上ハ公債證書ヲ以て給與スルモノニアアルカラ之ニ當ルベキ公債
證書ヲ渡スト云フ見積リヲ付ケテ即チ祿高整理公債法ト云フモノが出テ來ル
ダラウト思フ、ソレデ是ハ公債證書ガ一千萬圓デハ多ウ過ギルト云フコトデ
アラウト思フ、然ラバ此公債證書一千萬圓デハ多イト云フ御考デ或ハ修正ニ
ナリサウナモノニアラウト云フ御考デスカ、併シ今日一體公債募集額ト云フ
モノハ六千万圓ヨリ以上ハ多キニ失スルト云フ說ノアル中ニ餘計ニナルト云
フコトヲ知リツ、募集スペシト云フ法案ヲ出スノハドウ云フ御考デアルカチ
ヨウト……

○男爵安場保和君 唯今ノ御質問ハ少シ私ニハ分リ兼ネマシタガ其御主旨ハ
第三條ヲ削除シタレバ此分ヲ餘程減ットルダラウト云フコトノヤウニ思ヒマ
ス、然ルニ私ノ申シタノハ第三條ハ這入ッテ居ラヌ、唯今ノハ第一條ニ對シテ
七百何ボト申シタノデス、勿論唯今安場君ノ申サレタ通一千萬圓ト云フノハ
大マカナ高デ調べタラ減ルカモ知レマセヌ又増スカモ知レマセガ、多クハ
増スコトハアルマイト云フ考デ尤モ唯今此法律ガ出マシタ所ガ、政府デ調ベ
メ所デ三百万圓ニナルカ四百万圓七百万圓ニナルカ分リマセヌガ、ソレハ相
談モシマセヌカラ……唯今委員會ノ論ジャナイト云フ御論デアリマシタガ左
様デゴザイマス、委員會ノ何ジヤゴザイマセヌ、委員會デハ左様ナ論ハゴザ
イマセヌ、ノデ委員長カラハ答ヘヌト申サレマシタノヲ私ガ横取ヲ致シマシ
タノデ、私ガ調ベテ居リマシタコトダケヲ御答ヘ申シマシタノデ其通ニ
……

○村田保君 本員モ少シ質問ヲ致シマス、此少ナイ方ノ質問ハ段々ゴザイマ
シタガ本員ハ大キイ方デ質問ヲ致シタイ、或ハ二千萬圓ト云フヤウナコト
ニナリマスレバ一千万圓限發行スルコトヲ得ト爲リマスレバ困ルダラウト思
フ一千萬圓シカ公債證書ヲ發行スルコトガ出來ナイノニ二千万圓モヤラナケ
レバナラヌト云コトデハ又ミ不公平ヲ生ズルコトガ出來マセウ又ミ苦情ガ
起ルニ達ヒナイト思フ、一體整理公債ヲ御出シニナルナラバ豫メドノ位ノモ
ノハヤラナケレバナラヌ或ハ一千万圓要スルトカ或ハ七百万圓要ルトカ云フ
サウ云フ見込ガ付イテ政府カラ發行シテ宜カラウト思フ、何モ今日大凡ノ漢
然タル雲ヲ攫ムヤウナコトヲ以テ出スニハ及バナイト思ヒマスカラ本員モ否
決スルト云フ說ニ賛成致シマス

○男爵小松行正君 本員ハ先キニ一言致シテ置キマシタガ一千萬圓ヲ限ルト
云フノハ一千万圓ヨリ外ニ出テハイカヌト云フコトデアリマスカラ、又澤山
餘計過ギテモ困ルト云フコトデゴザイマスケレドモ、餘計ニハシテナイヤウ
デゴザイマス、先刻柴原君ノ仰シヤル通七百万圓デ一千萬圓ノ内輪ニナツテ居
リマスカラ、一千万圓ヲ限ルトシテ……

○子爵谷干城君 法律ノ結果ニ依ルモノニアリマスカラ困ル
マイト思フ、併シモトノ家祿賞典祿ト云フモノ、調査ガ不十分デアラタカ
ラ此公債ノ額モ固ヨリ極ラヌト云フコトデアリマス、又今之ヲ施行スルト云
テモ往々缺點モアラウト思ヒマスカラ本員ハ此祿高整理公債ト云フモノハ否

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ニアリマス、即チ本案ハ廢案ニナリマシタ、モ
ウ既ニ四時ニナリマシタカラ今日ハ是マデニ致シテ置キマス、先刻御委託ニ
ナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス
明治二十九年度海軍省所管歲出臨時部臨時軍事費中支出未済豫算額ノ繰越
使用ニ關スル法律案特別委員
子爵大戸戸 瑣君 子爵伊東祐磨君 子爵堤功長君
子爵井伊直安君 子爵伊東祐磨君 子爵山内豊誠君
子爵大河内正質君 子爵一柳末徳君 宮島誠一郎君
子爵前田正名君 子爵長谷川貞雄君 小林小太郎君
子爵長谷川貞雄君 譲君 久保田澤簡徳君
土地區劃改良ニ係ル法律案特別委員
子爵大河内正質君 子爵本多實方君 田部長右衛門君
子爵前田正名君 子爵柳澤光邦君 田部長右衛門君
子爵長谷川貞雄君 久保田譲君 田部長右衛門君
遠洋漁業獎勵法案特別委員
子爵立花種恭君 子爵阿部正敬君 子爵梅小路定行君
子爵岩村定高君 子爵中島信行君 中村博愛君
子爵岡部長職君 子爵柳澤光邦君 吉村角次郎君
子爵本多副元君 子爵菊池武臣君 永山盛輝君
子爵渡正元君 千阪高雅君 永山盛輝君
明日ノ議事日程ノ御報道致シマス
(中根書記官長朗讀)

午前十時開議

第一 貨幣法案(政府提出衆議院送付)	第一 読會ノ續(特別委員)
第二 貨幣整理資金特別會計法案(政府提出、衆議院送付)	第一 読會ノ續(特別委員)
第三 明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中改正法律案(政府提出衆議院送付)	第一 読會ノ續(特別委員)
第四 明治十八年第十四號布告中改正法律案(政府提出衆議院送付)	第一 読會ノ續(特別委員)
第五 明治十二年第三十五號布告廢止法律案(政府提出衆議院送付)	第一 読會ノ續(特別委員)
第六 森林法案(政府提出衆議院送付)	第一 読會ノ續(特別委員)

第七	國稅徵收法案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員長報告)
第八	震災地方租稅特別處分法案(政府提出衆議院送付)	第一讀會ノ續(特別委員長報告)
第九	鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	
第十一	明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行 條例中削除法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十二	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	
第十三	私設鐵道條例中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(特別委員長報告)
第十四	明治二十八年法律第四號中改正法律	第一讀會ノ續(特別委員長報告)
第十五	私設鐵道條例中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(特別委員長報告)
第十六	水害地方地租特別處分法案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(特別委員長報告)
第十七	明治二十七年度決算ニ關スル決議案	會議(決算委員長報告)
第十八	古墳墓保護ニ關スル建議案(外山正一君發議)	會議(特別委員長報告)
第十九	製鹽調查所設置ニ關スル建議案(村田保君發議)	會議(特別委員長報告)
第二十	下ノ關門司兩港ヲ開港外輸出入港ト爲スノ 請願	會議(前會ノ續)
第二十一	登錄稅法自家用酒稅法葉煙草專賣法改正及廢止 ノ請願	會議(決算委員長報告)
第二十二	清國償金ノ一部ヲ普通教育基本金ニ充ルノ請願	會議(特別委員長報告)
第二十三	營業稅法改正ノ請願	
第二十四	社寺上地山林引戻ノ請願	
第二十五	地租免除ノ請願	
第二十六	日本銀行條例中改正ノ請願	
第二十七	特別免租ノ請願	
第二十八	地租延納ノ請願	
第二十九	不正肥料販賣取締規則發布ノ請願	
○議長(公爵近衛篤磨君)	本日ハ散會	
午後四時二十分散會		
貴族院議事速記録正誤		
三一	段行誤 正	頁正
三四五	アリマス ハアリマセヌ	三二七 下二三維持
		實正